

経費種別	13	経費概要	会費			
経費内容	01_調査研究費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
北日本政経懇話会						
経費の内容	金額(円)	備 考				
北日本政経懇話会会費	27,000	29.4~29.6月分				
《合 計》	27,000					
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 4 月 18 日
 決裁 平成 29 年 4 月 21 日
 処理 平成 29 年 4 月 24 日

(参考)

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成29年2月17日

報告者* 五十嵐 務

事業番号	2794	事業名称	会費
支出種別	01_調査研究費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
			03_広聴広報費 08_事務所費
			04_要請陳情等活動費 09_事務費
			05_会議費 10_人件費
北日本政経懇話会			
	北日本政経懇話会会費	27,000	29.1~29.3月分
	《合計》	27,000	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			
<p>29-02-13</p> <p>*54,000 電子決済</p>			

收受 平成 29 年 2 月 20 日
 決裁 平成 29 年 2 月 21 日
 処理 平成 29 年 2 月 21 日

請 求 書

平成 29年 1月 17日

富山県議会議員
五十嵐 務 様

北日本政経懇話会
会長

〒930-0094
富山市安住町2番
北日本新聞社経営企画部
TEL076(445)3528
FAX076(444)9180

平成 29年 上期会費として、下記のご請求額を貴社の指定口座から 平成 29年 2月 13日(月)に引き落とします。よろしくお願ひ申し上げます。

請求金額 54,000円

摘 要	金 額
平成29年上期会費(平成29年1月-6月) 9,000円×6カ月	54,000円
合 計 54,000円	
備考 会費(1カ月9,000円)は6カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

②8 1~3 27,000

②9 4~6 27,000

整理番号	204		使途項目	02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成29年5月2日	から	活動の概要	地方議員研究会2講座受講 地方議員研究会主催の「国土強靱化政策(備考)と公共事業」「公共施設の再編問題とコンパクトシティ」を受講	
	平成 年 月 日	まで			
場所	東京				
経費の内容*		金額	経費の内容*		金額
鉄道・バス		34720	宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費 (研修受講料)		30000
自家用車	@37 × km =	0			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		64720
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 18 日
 決裁 平成 29 年 5 月 19 日
 処理 平成 29 年 5 月 19 日

領 収 証

五十嵐務 様

29 年 5 月 2 日

★

¥30,000

但 5/2 10:00~「国土強靱化政策と公共事業」、
5/2 14:00~「公共施設の再編問題とコンパクトシティ」
2講座 研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いた しま し

一般社団法人地方議員研

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁

TEL 06 (7878) 6297



領 収 書 五十嵐務 様

Receipt

領収年月日 2017.-5.-1

金額 ¥34,720 (消費税等込み)

[クレジット扱い]

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(40193~00196 6枚)

西日本旅客鉄道株式会社

富山駅

富山駅UK62発行 20198-02

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

整理番号	205	事業概要	県政報告書作成・郵送費		
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	県政報告「つとむ通信 56号」発行				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	印刷代	189000	15000部	エスエス	/
	封筒作成費	42552	8000部	エスエス	/
	郵送費	311920	日本郵便	4116通	/
	《合計》	543472			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 5 月 18 日
 決裁 平成 29 年 5 月 19 日
 処理 平成 29 年 5 月 19 日

請求書 (Bill)

県議会議員 五十嵐 務

様

日本郵便株式会社 

平素は、格別のお引き立てに預かり、誠にありがとうございます。
 料金後納ご利用額につき、下記のとおりご請求させていただきます。
 同封の払込取扱票にて、最寄りの郵便局またはゆうちょ銀行でお振込みください。
 ※ゆうちょダイレクトによるご送金はできませんのでご注意ください。

【お問合せ先】
 富山南郵便局
 電話：076-421-3383

ご請求番号 (Billing ID) 322130-1001202-00	ご請求額 (Charge) 311,920 円 (うち消費税相当額) 23,105 円	お支払期限 (Due Date) 2017年 5月 31日	発行日 (Date of Issue) 2017年 5月 6日
ご請求の内訳 (Billing Details) 2017/04/01~2017/04/30. 料金後納ご利用額 311,920円			

お支払期限までにお支払いただけない場合、その期限の翌日から年14.5%の延滞利息をお支払いいただきます。
 「犯罪による収益の移転防止に関する法律」(平成19年法律第22号)により、10万円を超える額をお支払の際には、ご利用金融機関の窓口において、お客さまご本人のお名前、ご住所、生年月日が記載された証明書類をご提示いただくことが必要となります(詳しくは最寄りの郵便局またはゆうちょ銀行にお問合せください)。

振替払込請求書 兼受領証

通常払込料金 加入者負担

00180 3 901196

日本郵便株式会社

金額 311920

930-0801 富山県富山市中島3丁目7-20 佐竹ビル1F

依頼人住所氏名 県議会議員 五十嵐 務 様

日附印 29-05-18 富山駅北郵便局 (32232) N94290001

この受領証は、大切に保管してください。

富山米新品種は「富富富」

来年秋に本格販売される県産米新品種の名称が「富富富」に決まりました。富山の水、大地、人が育てた「富山づくしの米」との意味を込め、食べた後の幸せな気持ちを「ふふふ」という読み方で表現しています。

3月26日、都内のホテルで開かれた名称発表会。試食会で富山市出身の書家、森大衛さんが「富富富」と揮毫すると、会場からはざわめきの声が上がっていました。石井知事は、「インパクトのある名前になった。富という文字は豊かさやめでたさを感じられ、漢字に親しみある国にもアピールできる。」と海外販売に意欲を見せていました。

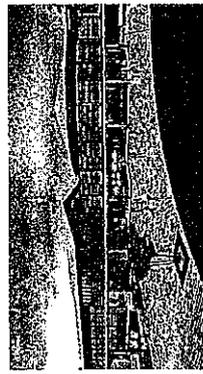
発表会には県出身女優の宮井滋さんとリオデジャネイロ五輪金メダリストの登坂絵莉選手が駆けつけ、宮井さんは「ふふふ」という読み方はかわいいうすきりした味で食べ飽きない新感覺のお米」と評し、登坂選手は「金メダル級のおいしさ」とアピールしてくれました。

新品種は、高温や病気に弱く倒れやすいコシヒカリの短所を克服し、おいしさを最大限に引き出したのが特徴です。今年は、県内23か所の計7ヘクタールで試験栽培し、首都圏などで先行販売します。本格デビューを迎える来年は、最大千ヘクタールで5千トンの生産を目指すことにしています。



3月26日、都内のホテル

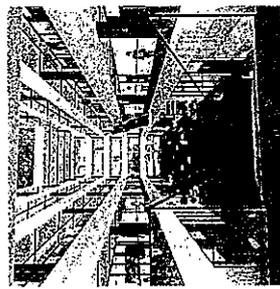
県立大学の整備を本格化



学生会館

工し、平成32年4月に利用を始めます。学生や教員の交流を創出する、明るい開放的な「吹き抜けホール」や県産材を使用した「木造の学生会館」などが特徴的です。素晴らしい施設で教員とのコミュニケーション・大学生生活の満足度、学習意欲を高め、より魅力的な大学になる事を期待します。

富山県では、県立大学における学料の拡充や入学定員の増員、看護学部の新設などに対応するため、新たな校舎の建設に向けた準備を進めています。富水市の県立大学の新棟や学生会館の整備を本格化し、現在実施設計をおこなっており、来年1月に着工し、平成32年4月に利用を始めます。学生や教員の交流を創出する、明るい開放的な「吹き抜けホール」や県産材を使用した「木造の学生会館」などが特徴的です。素晴らしい施設で教員とのコミュニケーション・大学生生活の満足度、学習意欲を高め、より魅力的な大学になる事を期待します。



県政に対するご意見をお寄せ下さい。
E-mail: [redacted]

事務所 / 〒930-0801 富山市中島3-7-20 佐竹ビル1F
TEL076-441-4141 FAX076-445-1882

つとむ通信

平成29年
第56号

発行人/富山県議会自民党議員会 五十嵐 務

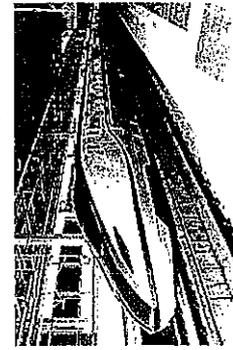
北陸新幹線開業3年目、一日でも早い全線開業を

富山県議会議員 五十嵐 務

皆様方には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

北陸新幹線が開業して2年が過ぎました。開業効果に測いた1年目と比較すると、新幹線の利用者は、8%減の829万5000人。また去年1年間の県内の延べ宿泊者は328万人で前年比17.8%と大きく減少しました。隣県の長野県が6.3%減、新潟県が1.4%減、石川県が2.2%減と底堅く推移する中、富山県の減り方が最も大きく、徐々に薄れていく開業効果に対して、どう向き合うのか競客戦略を見直す時期に来ているといえます。特に外国人訪日客をどう取り込んでいくかが大きな課題です。去年一年間の訪日客は前年比21.8%増の2403万9000人。外国人延べ宿泊者数は石川県が19.1%増えて62万人なのに対して、富山県は横ばいの20万人でした。このため2月議会で訪日外国人向けの情報の発信や、国際会議の誘致、北陸新幹線沿線地域と連携して広域を周遊する旅行商品の企画開発など外国人観光客の誘致を提言しました。

北陸新幹線は、国が1973年、東京から北陸地方を經由して大阪まで約700キロの整備計画を決定しました。長野冬季五輪開幕前の1997年10月に東京～長野間が先行開業し、2015年3月に金沢まで延伸開業しました。現在建設中の金沢～福井間が、昨年12月、小浜市から京都駅につなぐ「小浜～京都ルート」が正式決定し、3月には京都～大阪間については京都府京田辺市に新駅を巡る南回りを正式決定し、整備計画決定から43年余りを経て、全区間でルートが確定しました。国土交通省では、2031年度の着工、2046年度の開業を想定していますが、あまりにも遅すぎます。

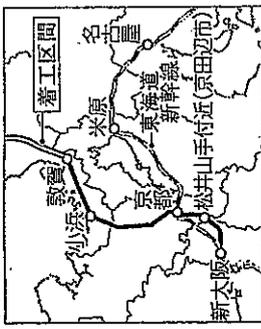


北陸新幹線が大坂まで開業すれば、東海道新幹線の代替機能を有するとともに、首都圏と北陸、関西を結ぶ新ゴールデンルートが形成されます。

今後は、敦賀までの前倒し開業はもとより、大阪までの一日も早い全線整備の実現に取り組んでいかなければなりません。



北陸新幹線 敦賀～新大阪のルート



富山県美術館が完成

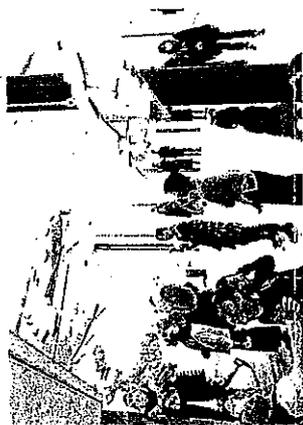
富山県美術館が3月25日一部オープン。4月29日には屋上庭園も開放され、8月26日には全面開館となります。富山県美術館は、20世紀美術の流れを展望するという富山県近代美術館の理念を受け継ぎ、さらに発展させて、「アートとデザインをつなぐ美術館」を目指す美術館として、富岩運河環水公園西地区に移転新築されたものです。

富山県美術館では、展示の充実はもちろん、小さな子どもから大人まで創作体験が行えるアトリエやそこで創作した作品を展示できるギャラリーも設けられ、鑑賞のみでなく、双方向の美術を体験できます。また、ガラス張りの大きな窓から立山連峰や環水公園の景色が目飛び込んできます。さらに、公園から美術館に続く、「千年の桜並木」や、県民が作品を発表できるアートワゴン(屋台)を設置したプロムナード(散歩道)も整備されて、公園と一体化した美術館として多くの方々に楽しんでいただけるようになっています。

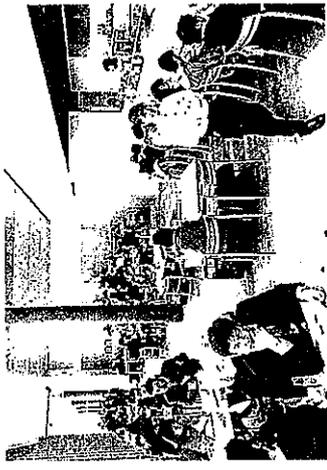
庭園「オノマトペの屋上」には人気のあふわふわドームをはじめ「ぐるぐる」「ひそひと」といった擬音語、他には「オノマトペ」をコンセプトに遊具を配置。他にはない発想で楽しい空間になり、子供はもちろん家族みんなで楽しめる屋上となっています。特に、この屋上からの立山連峰の眺めは言葉では言えないほど最高です。

美術館の3階では、レトロでモダンな味で人気の地方初出店「日本橋たいめいけん」でオムライスを食べてください。また1階のミュージアムショップをのぞいたり、疲れたらカフェでティータイムを楽しむこともできます。

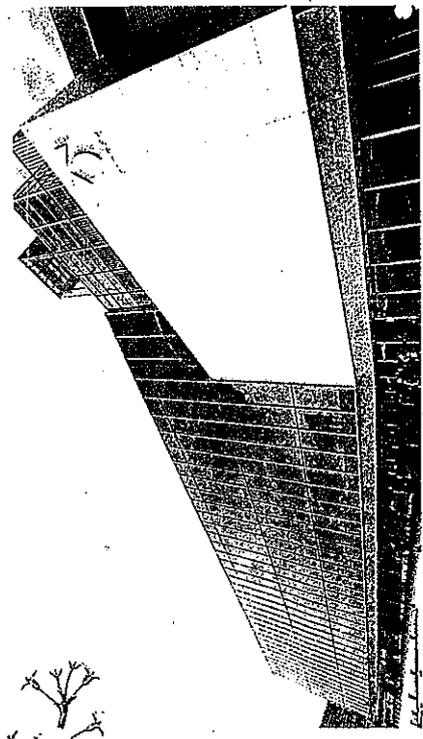
是非、富山県美術館に足を運んでみてください。



(美術館内)



日本橋たいめいけん富山店



(富山県美術館)

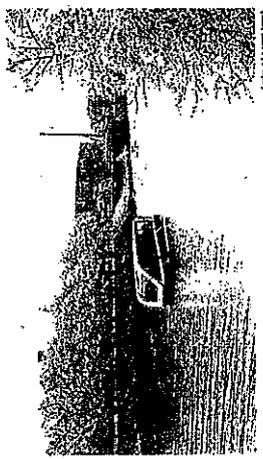
水上ライン20万人突破

富山県と富山市が共同運航している「富岩水上ライン」は、3月27日から運航していますが、平成21年の運行開始からの総乗船客数が20万人を突破しました。

富岩水上ラインは、富山市のオアシス・富岩運河環水公園から「水のエレベーター」中島閘門、さらには北前船で栄えた歴史の情緒が息づく港町・岩瀬地区を結びます。

4月3日から7日の「お花見ナイトクルーズ」は、今年2便体制となりましたが大変な人気で、特に中島閘門周辺のライトアップがきれいと評判でした。

今年からは「半券」と引き換えに、富山県美術館など提携美術館・博物館の鑑賞料金が割引に、また美術館・博物館の「半券」と引き換えに、水上ラインの乗船が1割引となり、国内各地でダムを訪れた人に配られるダムカードが人気を集めていることから、中島閘門カードを作り、水のエレベーター体験者に配るサービスもあります。



(富岩運河)



(中島閘門)

環水公園200万人へ

新幹線開業2年目は、開業効果の反動で入れ込み数が減った観光地もありましたが、富岩運河環水公園は前年比12.1%増の154万4000人と過去最高を更新しました。

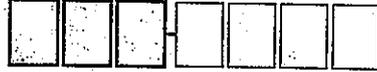
富岩水上ライン、世界で一番美しいスタターバックス、美しいライトアップの人気に加えて、今年には富山県美術館の完成によって新たな魅力も加わり、幅広い年齢層や、外国人観光客の来場が期待されます。今後とも、愛される環水公園のあり方を考えていきたいと思います。



(環水公園)

料金後納

ゆうメール



富山県議会議員

五十嵐 務

〒930-0801 富山市中島3-7-20
佐竹ビル1F

TEL (076) 441-4141

FAX (076) 445-1882

管理番号	206	事業概要	新聞代
使途項目	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費		
内容	新聞代 4月分		
上記事業に要した経費	格別の内容	金額(円)	備考
	北日本新聞	3072	/
	富山新聞	3072	/
	読売新聞	3093	/
	農業新聞	2623	/
	(合計)	11860	/

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

29-04-03 *3,072 トマシフアン

29-04-21 農業新聞 *2,623

29-04-28 新聞代金 *3,072

 領収書

区域017 全戸0311-050お問合せNo02260

お名前 五十嵐 務 様

中島3-7-20
佐竹ビル第二1F
29年 4月分

銘柄	部数	金額	左記の通り領収しました
1 読売新聞朝刊	1	3,093	
2			
3			
合計		3,093円	

領収日 年 月 日

読売新聞・日本経済新聞
 (株) 奥田新聞店
 代表 藤木 誠
 〒930-0818 富山市奥田町8番3号
 TEL 076-432-0773 FAX 076-442-5687



受 平成 29 年 5 月 18 日
 裁 平成 29 年 5 月 19 日
 理 平成 29 年 5 月 19 日

※書面をおわせて内容が
 分かるようにしてください

整理番号	240	事業概要	県政報告書用写真作成費			
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容	県政報告「つとむ通信 56号」用写真					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)*	備考			
	写真作成代	30000	タニナカフォトスタジオ			
	《合計》	30000				

別紙に整理すること。

領 収 証

No. _____

五十嵐 務 様

29年 4月 30日

¥ 30,000

タニナカフォトスタジオ様

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

タニナカフォトスタジオ

〒930-0816 富山市上赤江町2-3-11

TEL・FAX 076-442-7002

収受 平成 29 年 5 月 23 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日

富山米新品種は「富富富」

来年秋に本格販売される県産米新品種の名稱が「富富富」に決まりました。富山の水、大地、人が育てた「富山づくしの米」との意味を込め、食べた後の幸せな気持ちをも「ふふふ」という読み方で表現しています。

3月26日、都内のホテルで開かれた名産発表・試食会で富山市出身の書家、森大衛さんが「富富富」と揮毫すると、会場からはざわめきの声が上がっていました。石井知事は、「インパクトのある名前になった。富という文字は豊かさやめでたさも感じられ、漢字に親しみある国にもアピールできる。」と海外販売に意欲を見せていました。



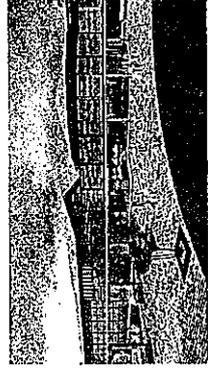
発表会には県出身女優の宮井滋さんとリオデジャネイロ五輪金メダリストの登坂絵莉選手が駆けつけ、宮井さんは「ふふふという読み方はかわいし、すっきりした味で食べ飽きない新感覚のお米」と評し、登坂選手は「金メダル級のおいしさ」とアピールしてくれました。

新品種は、高温や湿気に弱く倒れやすいゴシヒカガリの短所を克服し、おいしさを最大限に引き出したのが特徴です。今年、県内23か所の計7ヘクタールで試験栽培し、首都圏などで先行販売します。本格デビューを迎える来年は、最大千ヘクタールで5千トンの生産を目指すことにしています。

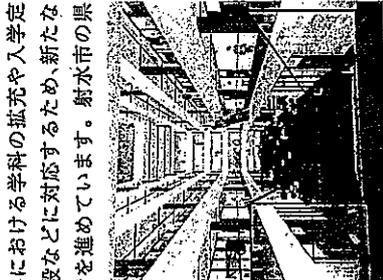


3月26日、都内のホテル

県立大学の整備を本格化



富山県では、県立大学における学科の拡充や入学定員の増員、看護学部の新設などに対応するため、新たな校舎の建設に向けた準備を進めています。射水市の県立大学の新棟や学生会館の整備を本格化し、現在実施設計をおこなっており、来年1月に着工し、平成32年4月に利用を始めます。学生や教員の交流を創出する、明るい開放的な「吹き抜けホール」や県産材を使用した「木造の学生会館」などが特徴的です。素晴らしい施設で教員とのコミュニケーション・大学生生活の満足度、学習意欲を高め、より魅力的な大学になる事を期待します。



県政に対するご意見をお寄せ下さい。
E-mail: [redacted]

事務局 / 〒930-0801 富山市中島3-7-20 佐竹ビル1F
TEL076-441-4141 FAX076-445-1882

つとむ通信

平成29年
第56号

発行人 / 富山県議会自民党議員会 五十嵐 務

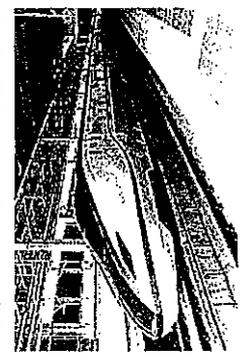
北陸新幹線開業3年目、一日でも早い全線開業を

富山県議会議員 五十嵐 務

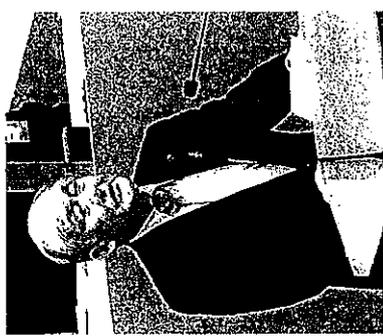
皆様方には、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

北陸新幹線が開業して2年が過ぎました。開業効果に測いた1年目と比較すると、新幹線の利用者は、8%減の829万5000人、また去年1年間の県内の延べ宿泊者は328万人で前年比17.8%と大きく減少しました。隣県の長野県が6.3%減、新潟県が1.4%減、石川県が2.2%減と底堅く推移する中、富山県の減り方が最も大きく、徐々に薄れていく開業効果に対して、どう向き合うかの誘客戦略を見直す時期に来ているといえます。特に外国人訪日客をどう取り込んでいくかが大きな課題です。去年一年間の訪日客は前年比21.8%増の2403万9000人。外国人延べ宿泊者数は石川県が19.1%増えて62万人なのに対して、富山県は横ばいの20万人でした。このため2月議会で訪日外国人向けの情報の発信や、国際会議の誘致、北陸新幹線沿線地域と連携して広域を関連する旅行商品の企画開発など外国人観光客の誘致を提言しました。

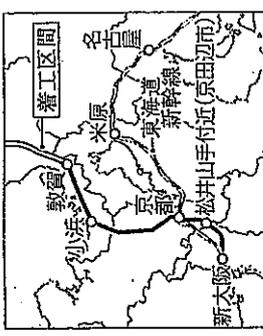
北陸新幹線は、国が1973年、東京から北陸地方を經由して大阪まで約700キロの整備計画を決定しました。長野冬季五輪開幕前の1997年10月に東京-長野間が先行開業し、2015年3月に金沢まで延伸開業しました。現在建設中の金沢-福井県敦賀は2023年の開業予定となっています。敦賀以西については、昨年12月、小坂市から京都駅につなぐ「小坂-京都府京田辺市」が正式決定し、3月には京福-大阪間については京都府京田辺市に新駅を造る南回りを正式決定し、整備計画決定から43年余りを経て、全区間でルートが確定しました。国土交通省では、2031年度までの開業を想定していますが、あまりにも遅すぎます。



北陸新幹線が大阪まで開業すれば、東海道新幹線の代替機能を有するとともに、首都圏と北陸、関西を結ぶ新ゴールデンルートが形成されます。今後は、敦賀までの前倒し開業はもとより、大阪までの一日も早い全線整備の実現に取り組んでいかねなければなりません。



北陸新幹線 敦賀-新大阪のルート



富山県美術館が完成

富山県美術館が3月25日一部オープン。4月29日には屋上庭園も開放され、8月26日には全面開館となります。富山県美術館は、20世紀美術の流れを展望するという富山県立近代美術館の理念を受け継ぎ、さらに発展させて、「アートとデザインをつなぐ美術館」を目標とする美術館として、富岩運河環水公園西地区に移転新築されたものです。

富山県美術館では、展示の充実はもちろん、小さな子どもから大人まで創作体験が行えるアトリエやそこで創作した作品を展示できるギャラリーも設けられ、鑑賞のみでなく、双方向の美術を体験できます。また、ガラス張りの大きな窓から立山連峰や環水公園の景色が目飛び込んできます。さらに、公園から美術館に続く、「千年の散並木」や、県民が作品を発表できるアートワゴン(屋台)を配置したプロムナード(散歩道)も整備されて、公園と一体化した美術館として多くの方々に楽しんでいただけるようになっています。

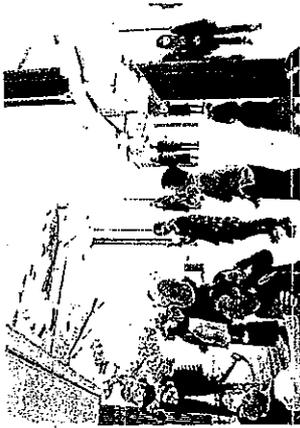
展覧「オノマトペの屋上」には人気のふわふわドームをはじめ「ぐるぐる」「ひそひと」といった擬態語、擬音語(オノマトペ)をコンセプトに遊具を設置。他にはない発想で楽しい空間になり、子供はもちろん家族みんなで楽しめる屋上となっています。特に、この屋上からの立山連峰の眺めは言葉では言えないほど最高です。

美術館の3階では、レトロでモダンな味で人気の地方初出店「日本橋たいめいけん」でオムライスを食べてください。また1階のミュージアムショップをのぞいたり、疲れたらカフェでティータイムを楽しむこともできます。

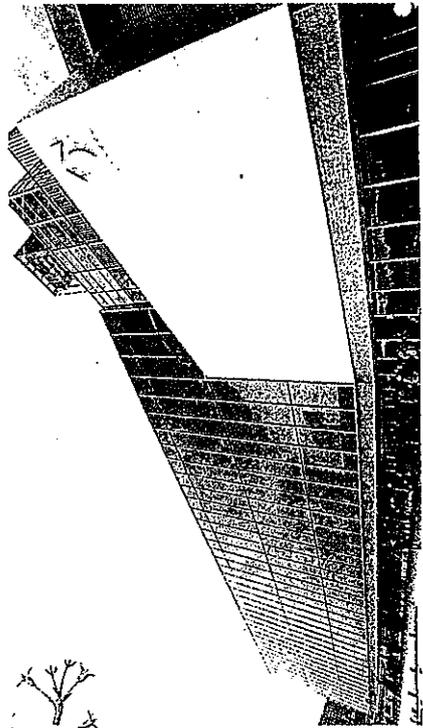
是非、富山県美術館に足を運んでみてください。



日本橋たいめいけん富山店

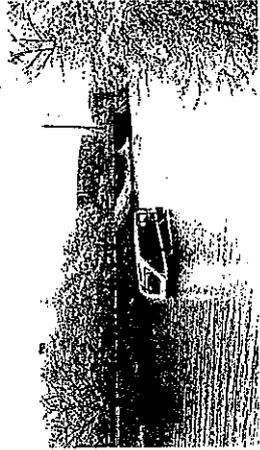


(美術館内)



(富山県美術館)

水上ライン20万人突破



(富岩運河)

富山県と富山市が共同運航している「富岩水上ライン」は、3月27日から運航していますが、平成21年の運行開始からの総乗船客数が20万人を突破しました。

富岩水上ラインは、富山市のオアシス・富岩運河環水公園から「水のエレベーター」中島開門、さらには北前船で栄えた歴史の情緒が息づく港町・岩瀬地区を結びます。

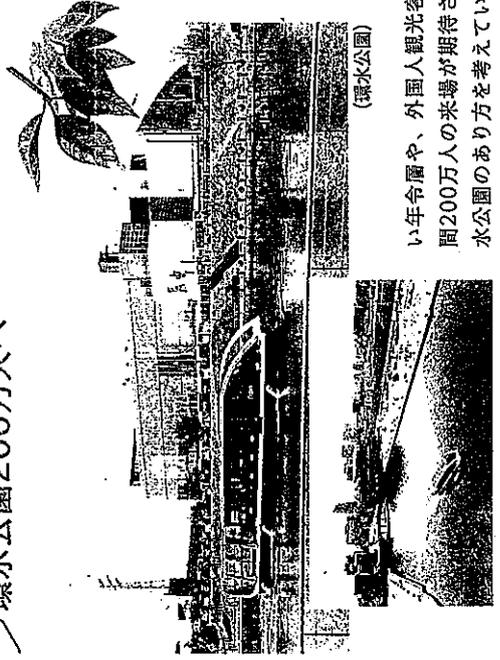
4月3日から7日の「お花見ナイトクルーズ」は、今年2便体制としましたが大変な人気で、特に中島開門周辺のライトアップがきれいと評判でした。

今年からアートの街・富山と水上ラインをセットで楽しんでいただくために、水上ラインの乗船チケットの「半券」と引き換えに、富山県美術館など提携美術館・博物館の鑑賞料金が割引に、また美術館・博物館の「半券」と引き換えに、水上ラインの乗船が1割引きとなるサービスがスタートしました。その他、国内各地でダムを訪れた人に配られるダムカードが人気を集めていることから、中島開門カードを作り、水のエレベーター体験者に配るサービスもあります。



(中島開門)

環水公園200万人へ



(環水公園)

新幹線開業2年目は、開業効果の反動で入れ込み数が減った観光地もありましたが、富岩運河環水公園は前年比12.1%増の154万4000人と過去最高を更新しました。

富岩水上ライン、世界で一番美しいスターバックス、美しいライトアップの人氣に加えて、今年は富山県美術館の完成によって新たな魅力も加わり、幅広い年齢層や、外国人観光客の集客がみこまれ、近い将来年間200万人の来場が期待されます。今後とも、愛される環水公園のあり方を考えていきたいと思えます。

整理番号	635	事業概要	県政報告書郵送費		
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
内容	県政報告「つとむ通信 56号」郵送				
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考		
	郵送費	72870	日本郵便 1041通		
	《合計》	72870			

振替払込請求書
兼受領証

通常払込科金
加入者負担

00180 3 901196

日本郵便株式会社

金額 千 百 十 万 千 百 十 円
¥ 7 2 8 7 0

930-0801
富山県富山市中島3丁目7-20 佐竹ビル1F

依頼人住所氏名
県議会議員 五十嵐 務 様

日 附 印
29-06-30
富山駅北郵便局
(32232)
N94130036

この受領証は、大切に保管してください。

(ご注意)

- この用紙は、機械で処理しますので、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局のATMでもご利用いただけます。
- ゆうちょ銀行又は郵便局におかけになると必ずお受け取りください。
- おなまをいただくおとほりすに通知するものとなく

付しきれない場合は、別紙に整理すること。



收受 平成 29 年 7 月 5 日
 決裁 平成 29 年 7 月 6 日
 処理 平成 29 年 7 月 7 日

930-0801
富山県富山市中島3丁目7-20 佐竹ビル1F

県議会議員 五十嵐 務

様

0076118# C13 2001043291-000001

郵便物の返還先
富山南郵便局
939-8799
富山県富山市堀川町257-2

076-421-3383

請求書 (Bill)

県議会議員 五十嵐 務

様

日本郵便株式会社

平素は、格別のお引き立てに預かり、誠にありがとうございます。
料金後納ご利用額につき、下記のとおりご請求させていただきます。
同封の払込取扱票にて、最寄りの郵便局またはゆうちょ銀行でお振込みください。
※ゆうちょダイレクトによるご送金はできませんのでご注意ください。

【お問合せ先】
富山南郵便局
電話：076-421-3383

ご請求番号 (Billing ID)	ご請求額 (Charge)	お支払期限 (Due Date)	発行日 (Date of Issue)
322130-1002860-00	72,870 円 (うち消費税相当額 5,397 円)	2017年 6月 30日	2017年 6月 6日
ご請求の内訳 (Billing Details)			
2017/05/01~2017/05/31 料金後納ご利用額 72,870円			

お支払期限までにお支払いいただけない場合、その期限の翌日から年14.5%の延滞利息をお支払いいたします。
「犯罪による収益の移転防止に関する法律」(平成19年法律第22号)により、10万円を超える額をお支払の際には、ご利用金融機関の窓口において、お客さまご本人のお名前、ご住所、生年月日が記載された証明書をご提示いただくことが必要となります(詳しくは最寄りの郵便局またはゆうちょ銀行にお問合せください)。

富山米新品種は「富富富」

来年秋に本格販売される県産米新品種の名稱が「富富富」に決まりました。富山の水、大地、人が育てた「富山づくしの米」との意味を込め、食べた後の幸せな気持ちを「ふふふ」という読み方で表現しています。

3月26日、都内のホテルで開かれた名産発表・試食会で富山市出身の書家、森大衛さんが「富富富」と揮毫すると、会場からはざわめきの声が上がっていました。石井知事は、「インパクトのある名前になった。富という文字は豊かさややめでたさも感じられ、漢字に親しみある圏にもアピールできる。」と海外販売に意欲を見せていました。

発表会には県出身女優の室井滋さんとリオデジャネイロ五輪金メダリストの登坂絵莉選手が駆けつけ、室井さんは「ふふふという読み方はかわいしい、すっきりとした味で食べ飽きない新感覚のお米」と評し、登坂選手は「金メダル級のおいしさ」とアピールしてくれました。

新品種は、高温や湿気に弱く倒れやすいコシヒカリの短所を克服し、おいしさを最大限に引き出したのが特徴です。今年は、県内23か所の計7ヘクタールで試験栽培し、首都圏などで先行販売します。本格デビューを迎える来年は、最大千ヘクタールで5千トンの生産を目指すことにしています。



3月26日、都内のホテル



つとむ通信

平成29年
第56号

旅行人/富山県議会自民党議員会 五十嵐 務

北陸新幹線開業3年目、一日でも早い全線開業を

富山県議会議員 五十嵐 務

皆様方には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

北陸新幹線が開業して2年が過ぎました。開業効果に測いた1年目と比較すると、新幹線の利用者は、8%減の829万5000人。また去年1年間の県内の延べ宿泊者は328万人で前年比17.8%と大きく減少しました。隣県の長野県が6.3%減、新潟県が1.4%減、石川県が2.2%減と底堅く推移する中、富山県の減り方が最も大きく、徐々に薄れていく開業効果に対して、どう向き合うのか訪客戦略を見直す時期に来ているといえます。特に外国人訪日客をどう取り込んでいくかが大きな課題です。去年一年間の訪日客は前年比21.8%増の2403万9000人。外国人延べ宿泊者数は石川県が19.1%増えて62万人なのに対して、富山県は横ばいの20万人でした。このため2月議会で訪日外国人向けの情報の発信や、国際会議の誘致、北陸新幹線沿線地域と連携して広域を囲繞する旅行商品の企画開発など外国人観光客の誘致を提言しました。

北陸新幹線は、国が1973年、東京から北陸地方を結ぶとして大阪まで約700キロの整備計画を決定しました。長野冬季五輪開幕前の1997年10月に東京～長野間が先行開業し、2015年3月に金沢まで延伸開業しました。現在建設中の金沢～福井県敦賀は2023年の開業予定となっています。敦賀以西については、昨年12月、小浜市から京都駅につなぐ「小浜～京都ルート」が正式決定し、3月には京都～大阪間については京都府京田辺市に新駅を造る南周りを正式決定し、整備計画決定から

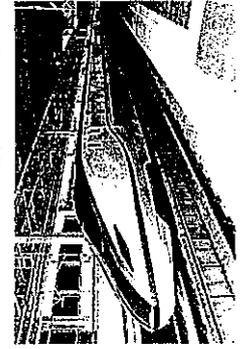
43年余りを経て、全区間でルートが確定しました。国土交通省では、2031年度の着工、2046年度の開業を想定していますが、あまりにも遅すぎます。

北陸新幹線が大阪まで開業すれば、東海道新幹線の代替機能を有するとともに、首都圏と北陸、関西を結ぶ新ゴールデンルートが形成されます。

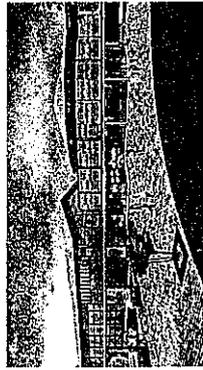
今後は、敦賀までの前倒し開業はもとより、大阪までの一日も早い全線整備の実現に取り組んでいかなければなりません。



北陸新幹線 敦賀～新大阪のルート



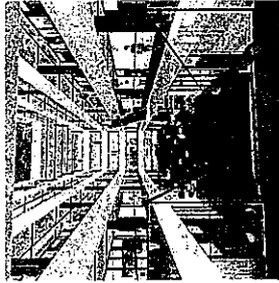
県立大学の整備を本格化



学生会館

工し、平成32年4月に利用を始めます。学生や教員の交流を創出する、明るい開放的な「吹き抜けホール」や果樹材を使用した「木造の学生会館」などが特徴的です。素晴らしい施設で教員とのコミュニケーション・大学生生活の満足度、学習意欲を高め、より魅力的な大学になる事を期待します。

富山県では、県立大学における学科の拡充や入学定員の増員、看護学部の新設などに対応するため、新たな校舎の建設に向けた準備を進めています。射水市の県立大学の新棟や学生会館の整備を本格化し、現在実施設計をおこなっており、来年1月に着



県政に対するご意見をお寄せ下さい。

E-mail: info@fukushima-u.ac.jp

事務所/〒930-0801 富山市中島3-7-20 佐竹ビル1F
TEL076-441-4141 FAX076-445-1882

富山県美術館が完成

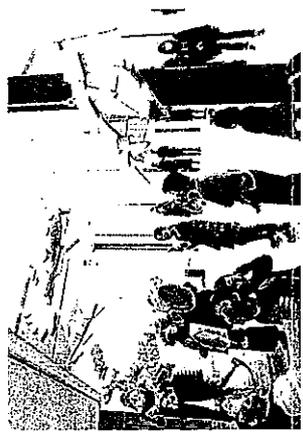
富山県美術館が3月25日一部オープン。4月29日には屋上庭園も開放され、8月26日には全面開館となります。富山県美術館は、20世紀美術の流れを展望するという富山県近代美術館の理念を受け継ぎ、さらに発展させて、「アートとデザインをつなぐ美術館」を目指す美術館として、富岩運河環水公園西地区に移転新築されたものです。

富山県美術館では、展示の充実はもちろん、小さな子どもから大人まで創作体験が行えるアトリエやそこで創作した作品を展示できるギャラリーも設けられ、鑑賞のみでなく、双方向の美術を体験できます。また、ガラス張りの大きな窓から立山連峰や環水公園の景色が目飛び込んできます。さらに、公園から美術館に続く、「千年の炭並木」や、県民が作品を発表できるアートワゴン(屋台)を配置したプロムナード(散歩道)も整備されて、公園と一体化した美術館として多くの方々に楽しんでいただけるようになっています。

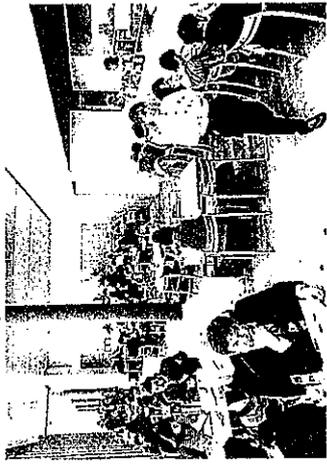
庭園「オノマトペの屋上」には人気のふわふわドームをはじめ「ぐるぐる」「ひそひと」といった擬態語、擬音語(オノマトペ)をコンセプトに遊具を設置。他にはない発想で楽しい空間になり、子供はもちろん家族みんなで楽しめる屋上となっています。特に、この屋上からの立山連峰の眺めは言葉では言えないほど最高です。

美術館の3階では、レトロでモダンな味で人気の地方初出店「日本橋たいめいけん」でオムライスを食べてください。また1階のミュージアムショップをのぞいたり、疲れたらカフェでティータイムを楽しむこともできます。

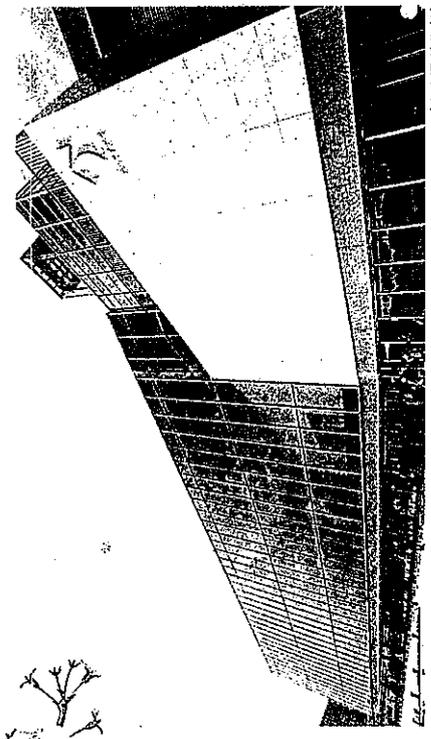
是非、富山県美術館に足を運んでみてください。



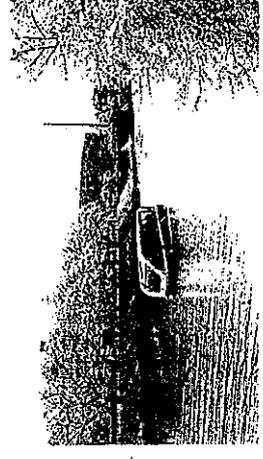
(美術館内)



日本橋たいめいけん富山店



(富山県美術館)



(富岩運河)

水上ライン20万人突破

富山県と富山市が共同運航している「富岩水上ライン」は、3月27日から運航していますが、平成21年の運行開始からの総乗船客数が20万人を突破しました。

富岩水上ラインは、富山市のオアシス・富岩運河環水公園から「水のエレベーター」中島開門、さらには北前船で栄えた歴史の情緒が息づく港町・岩瀬地区を結びます。

4月3日から7日の「お花見ナイトクルーズ」は、今年2便体制となりましたが大変な人気で、特に中島開門周辺のライトアップがきれいと評判でした。

今年からアートの街・富山と水上ラインをセットで楽しんでいただくために、水上ラインの乗船チケットの「半券」と引き換えに、富山県美術館など提携美術館・博物館の鑑賞料金が割引に、また美術館・博物館の「半券」と引き換えに、水上ラインの乗船料1割引となるサービスがスタートしました。その他、国内各地でダムを訪れた人に配られるダムカードが人気を集めていることから、中島開門カードを作り、水のエレベーター体験者に配るサービスもあります。



(中島開門)

環水公園20万人へ

新幹線開業2年目は、開業効果の反動で入込込み数が減った観光地もありましたが、富岩運河環水公園は前年比12.1%増の154万4000人と過去最高を更新しました。

富岩水上ライン、世界で一番美しいスタターバックス、美しいライトアップの人気に加えて、今年は富山県美術館の完成によって新たな魅力も加わり、幅広い年齢層や、外国人観光客の集客が期待されます。今後とも、愛される環水公園のあり方を考えていきたいと思ひます。



(環水公園)

整理番号	636	事業概要	新聞代		
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	新聞代5月分				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	富山新聞	2572	/		
	読売新聞	3093	/		
	農業新聞	2623	/		
	《合計》	8288			

《領収書貼付》  **領収書** 区域017 全戸0311-050お問合せNo.02260 場合は、別紙に整理すること。

お名前 **五十嵐 務 様**
 中島3-7-20
 佐竹ビル第二1F
 29年 5月分

銘	柄	部数	金額	
1	読売新聞朝刊	1	3,093	
2				
3				
合計			3,093円	領収日 年 月 日

読売新聞・日本経済新聞
 (株)奥田新聞店
 代表 藤木 誠
 〒930-0818 富山市奥田町8番3号
 TEL 076-432-0773 FAX 076-442-5687

領収印 

29-05-22 農業新聞 *2,623
 29-06-02 *2,572 トヤマシマフン

収受 平成 29年 7月 5日
 決裁 平成 29年 7月 6日
 処理 平成 29年 7月 7日

整理番号	637	事業概要	新聞代		
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	新聞代6月分				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)		備考	
	富山新聞	3072		/	
	農業新聞	2623		/	
	《合計》	5695			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
<p>29-06-21 農業新聞 *2,623</p> <p>29-07-03 *3,072 トヤマシンプン</p>					

收受 平成 29 年 7 月 5 日
 決裁 平成 29 年 7 月 6 日
 処理 平成 29 年 7 月 7 日

整理番号	1114		使途項目	04_要請陳情等活動費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成29年7月26日	から	活動の概要	国土交通省陳情	
	平成29年7月26日	まで		(内容) ・別紙のとおり	(備考)
場所	東京都内				

経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス	25860	宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × km =	0		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
		計	25860

《領収書》

領 収 証

No. 066607 J

RECEIPT

平成 29 年 7 月 21 日

ご氏名 富山県議会 自民党 様
五十嵐 務

(ご注意)

本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額

¥ 25,860-

ただし 7/26 7R 考 (富山へ 暫 往 帰)

- ① 現金
- 2. 小切手
- 3. 振込
- 4. クレジット() カード
- (¥)
- 5. その他()

上記金額正に領収いたしました

50,000円以上

収入印紙

株式会社日本旅行 NISSA 富山 営業本部 支店

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

責任者印

抜者名

(注1)

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 8 月 25 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日

県外・海外政務活動報告書

平成 29 年 7 月 31 日

整理番号	1114	会派・議員名	自民党 五十嵐務
活動名称	国土交通省陳情		
目的	国道8号豊田新屋高架化、都市計画道路綾田北代線事業促進要望		
日程	成 29 年 7 月 26 日 () ~ 平成 年 月 日 ()		
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	国土交通省陳情		
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	石井国土交通大臣秘書官 杉戸氏、泥局企画課道路事業調査官 松本氏		
<p>行程・活動内容</p> <p>富山駅～東京(経後)</p> <p>飯沼時弘命 国土交通省で大臣秘書官杉戸氏に面会、 飯沼時弘大臣への要望書渡す。(当初大臣面談の予定だったが 実現できず) 笑</p> <p>杉戸秘書の案内で道路局にも要望書(不在)</p> <p>道路局企画課 松本道路事業調査官と 説明・要望す。</p> <p>吉田知県議同行</p>			

※日掃りの政務活動を含む。

国土交通省道路局企画課

道路事業調整官 松 本 健

〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関2-1-3
Tel: 03-5253-8111(内線37502)
03-5253-8485(ダイヤルイン)
Fax: 03-5253-1618
E-mail: 

国土交通大臣秘書官

杉 戸 研 介

〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関2-1-3
電話(03)5253-8111(内線20015)
FAX(03)5253-1500(直通)

整理番号	1115	事業概要*	北日本政経懇話会会費		
使途項目*	01_調査研究費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	会費（平成29年7月～12月）				
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額（円）*		備考	
	会費（7月～12月）	54,000			
	《合計》*	54,000			
《領収書貼付枠》（原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）					
13 29-08-02 *54,000 セイコンカ化 					

收受 平成 29 年 8 月 25 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日

請 求 書

平成 29年 7月 10日

富山県議会議員
五十嵐 務 様

北日本政経懇話会
会長
〒930-0094
富山市安住町
北日本新聞社経営企画部
TEL076(445)3528
FAX076(444)9180

平成 29年 下期会費として、下記のご請求額を貴社の指定口座から 平成 29年 8月 2日(水)に引き落とします。よろしくお願ひ申し上げます。

請求金額 54,000円

摘 要	金 額
平成29年下期会費(平成29年7月-12月) 9,000円×6カ月	54,000円
	合 計 54,000円
備考 会費(1カ月9,000円)は6カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

整理番号	1116	事業概要	県政報告書		
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	県政報告「つとむ通信 57号」発行				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	印刷製本代	176040	13000部 有限会社 エスエス		
	予算特別委員会写真	10000	タニナカフォトスタジオ		
	《合計》	186040			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 8 月 25 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日

中学校卒業生数が、来年度に1万人を切り、急速な減少が見込まれる中、38校を維持した場
合、1学年の平均学級数が2031年には3.5となり、新川・砺波両学区では、全校が3学級以下
になります。また中学卒業生の進学地域のデーターでも、広い範囲から選んでいることがわか
り、再編を実施することが望ましいと考えます。

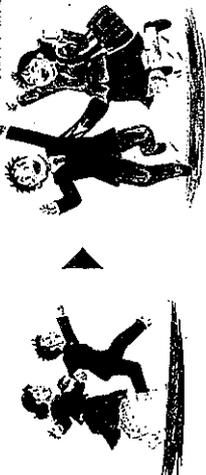
○最後に質問に立った五十嵐氏は県立高校の再編
を取り上げた。今定例会で、この問題をただすのは10
人目。

反対意見や慎重論を唱えた他の議員とは異なり、再
編を支持する論陣を張った。自身の高校時代の思い出
も交え、「議会では少数派かもしれないが、子どもた
ちの将来を考えれば決断すべきだ」と力を込めた。

④ 倉庫 知事 援軍に感謝

これに対し、知事は「再編は大変重要なテーマとし、
時間をかけて検討してきたと説明。今後幅広い意見
を聞き、丁寧に議論を進める考えを改めて強調した。
初めて「援軍」を得た喜びから、最後には倉井倉
から目を離し、「身に染みる大変いいお話をいただいた
」と感謝する一瞬も。結論を出すまでもには曲折も予
想されるだけに、大いに励まされた？

(北日本新聞)



中学卒業生の地元県立高校への進学率

学区	市町	比率(%)	学区	市町	比率(%)
新川	朝日町	20	富山	富山市	58
	入善町	28	射水	射水市	25
	黒部市	26	高岡	高岡市	46
砺波	魚津市	30	氷見市	氷見市	41
	滑川市	24	砺波市	砺波市	28
	上市町	24	南砺市	南砺市	41
	立山町	16	小矢部市	小矢部市	27

※調査3年の平均
舟橋村は村内に県立高校なし

県政に対するご意見をお寄せ下さい。

E-mail: [Redacted]

事務所 / 〒930-0801 富山市中島3-7-20 佐竹ビル1F
TEL076-441-4141 FAX076-445-1882

今後の学級編制の見込み

(学校数を維持し、学級数でのみ対応した場合)

学級数	新川学区 (8校)	朝日学区 (13校)	高岡学区 (11校)	砺波学区 (6校)
8		1校		
7		3校	3校	
6	1校	3校	1校	1校
5	2校	2校	3校	1校
4	4校	2校	3校	2校
3	1校	1校	4校	1校
2				
1				1校

※総学級数182 平均学級数4.8



学級数	新川学区 (8校)	朝日学区 (13校)	高岡学区 (11校)	砺波学区 (6校)
8				
7			3校	
6			4校	
5		3校	5校	7校
4	3校	5校	1校	4校
3	5校	1校		3校
2				
1				1校

※総学級数146 平均学級数3.8



学級数	新川学区 (8校)	朝日学区 (13校)	高岡学区 (11校)	砺波学区 (6校)
8				
7			1校	
6			4校	
5		7校	7校	4校
4	7校	1校		5校
3	1校			
2				
1				1校

※総学級数133 平均学級数3.5

子供たちのために高校再編を

富山県議会議員 五十嵐 務

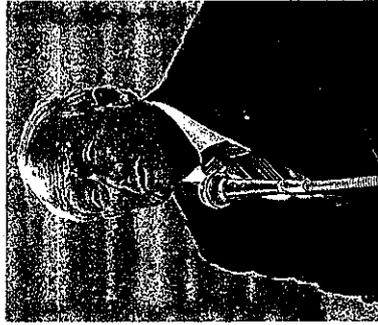
6月県議会では高校再編問題について、代表・一般・予算
特別委員会各委員から多くの質問がありました。ほと
んど議員は慎重な立場で聞いておられましたが、私は、高校
再編は積極的に進めるべきとの考えでいます。

高校再編に慎重な方々の意見では、高校は地域のアイデン
ティティのひとつであり、町から高校がなくなるのは、地域の
子供たち・住民にとって大変不幸なことである。地域の活性化
が図られるような配慮が必要であり、「一市町一高校」を保持
してもらいたい。地域に進学の選択肢がないという状況は、
子供を産み育てる気持ちに懸念をかけ、少子化に拍車をか
ける可能性があるとして述べられておられます

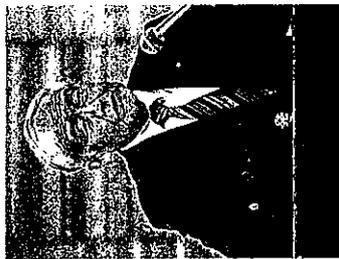
私は、地域活性化は二の次であり、あくまで教育ということを考えて進めてもらいたい。高校は地域
の文化・歴史を作る場所ではあるが、それ以上に、高校生を育てるための場所であることが一番
大切な存在の意義。高校再編は、子供ファーストで考えていくべきで、高校生の教育環境をどのように
整備、充実させていくかが基本であると考えます。

高校再編について議論している、総合教育会議での発言をみても、「地理的にみれば富山県
は、小規模校を残さなければ高校教育の機会を提供できない地域が相対的に少ない。この地理的条件
を活かして、高校教育の質を向上させられる施策を打つべきである」と、お茶の水女子大学の耳塚教授が
述べておられます。

子供たちの人生を考えると、一定規模の学校であるべきであり、また部活動もいろいろ選択できるこ
とが望ましいと思っています。ただ通学の便などを考えると、公共交通網などの更なる整備も必要です。
再編の基本方針が定まれば、次の段階として、再編の対象校や実施時期など、具体的な再編計画を策定
していくこととなります。平成30年からの生徒数の減少や、平成32年からの急減を踏まえると、いつ
までも議論ばかりして方向がでないというわけにはいかず、そろそろ大きな方針を示すべき時であり、
子供たちが県内で学ぶよりよい形を示していかなければならないと考えます。



6月県議会で、子育て、教育問題で議論



(五十嵐) 子育て応援券事業について、これまでの利用状況をどのように評価しているのか。

(石井知事) 子育て応援券事業については、乳幼児医療費助成制度に平成20年度から導入した所得制限により生じた財源を活用したものである。

昨年度未だに市町村を通じて配布された応援券は、約7万5,300人分、金額にして約9億7,400万円となっており、有効期間が満了した応援券は80%以上の高い利用率で推移している。昨年度、利用されたサービスのうち、「予防接種」の割合が最も高く、次いで「読み聞かせ絵本購入」、「母乳相談」の順となっており、保健分野、保育、育児支援分野、いずれの分野においても幅広く利用されている。

応援券の配布対象者に対して27年度に行ったアンケート調査では、利用された86.3%の方から「満足している」との回答があり、その理由として「任意の予防接種が高額なので助かった」「経済的に助かった」などの声が多く、高い評価をいただいている。

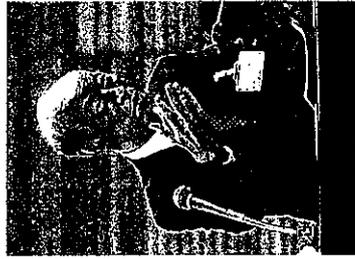
県としてはこれまでもアンケート調査や、有識者などの意見を踏まえ、有効期間の延長、対象サービスの拡大など子育て家庭が使いやすい制度となるよう改善を重ねてきているところであるが、今後もサービスの充実や、利用促進等に努めてまいりたい。

(五十嵐) 希望出生率1.9の達成に向けた取組みは長期的な展望に立って行う必要があることから、これまでの子育て支援策を継続することに加え、さらなる拡充が必要と考えるが、どのように取り組むのか。

(石井知事) 合計特殊出生率は、10年前は1.34と低い時期もあったが、28年の結果によると、1.50となり、27年に21年ぶりに回復した1.50台を引き続き維持し、上昇傾向にある。

本年度は、子育て家庭の意識調査を行い、子育て支援施策の充実を検討することとなるが、例えば、ご提案の①ひとり親や低所得世帯に対する保育料助成の拡充、②病児・病後児保育の利用に対する支援の拡充、③産後ケア対策の充実、④女性活躍・働き方改革の推進やイクボス企業の普及、企業子宝率の向上とあわせた仕事と子育ての両立の支援政策の充実などが検討の対象、課題となるのではないかと考えている。

県としては、未来創生のためにも希望出生率1.9の達成に向けて、今後どのような施策を充実していくべきかについて、しっかりと検討し取り組んでまいりたい。



(五十嵐) 政府有識者会議の中間報告では、東京の大学の学生を地方に還流させることをねらいとして、富山県が提案した内容が盛り込まれているが、今後、本県として、こうした内容の実現を目指して、どのように取り組むのか。

(石井知事) 東京一極集中の是正に向けて、①東京23区への大学の学部・学科の新増設の抑制、②産学官連携によるモデル的なプロジェクトに対する新たな財政支援制度の創設の検討のほか、委員ご指摘のように東京の学生に地方での就業を意欲づけられる観点から、③単位互換制度等の連携強化により学生が相互に対流・還流する仕組みの構築や、④3年間は東京圏で学修し、4年次に地方に戻って学修するプログラムの取組みの推進、⑤東京圏の大学で構成する協議会を作り、地元企業のニーズに対応してインターンシップを促進する全国的な仕組みの創設などについて提案した。県としても、東京圏の学生を対象とした東京圏では学修できない「富山ならではの」教育プログラムの提供や、産学官のアルミ分野、デザイン分野などのコンソーシアムによるインターンシップの受入れなども検討しているところである。今後、国による制度化の動きと連携しながら、こうした取組みを進め、本県出身の学生はもとより、東京圏の学生が富山で学び、将来的に富山で職を得て定住いただくといった流れを作り出せるように努力してまいりたい。

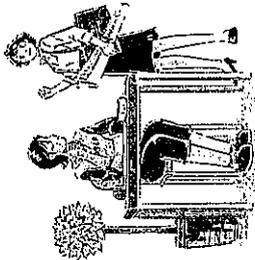
(五十嵐) 私立大学も含めた県内各大学の連携を図り、県内大学全体としての魅力向上や情報発信に努めたうえで、県内大学への進学、県外からの学生誘致にどのように取り組むのか。

(石井知事) 県内大学全体として、県内高等教育機関の連携組織である大学コンソーシアム富山において、単位互換科目の開設や、富山県内の大学で学ぶ魅力を伝えるパンフレットの配付など、県内各大学の魅力向上や情報発信に連携して取り組んでいる。

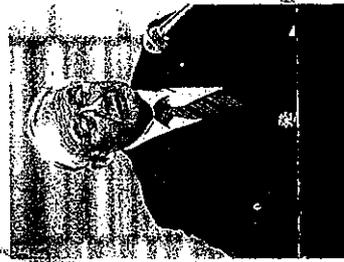
また、学生の県内就職率10ポイント向上を目標に、地域志向科目の開設や合同企業訪問などに各大学が連携して取り組んでおり、県もこれらの取組みを支援してきたところである。

さらに、医薬品、アルミ、デザイン関係分野での産学官連携の取組みは、当該産業の振興と専門人材の育成のみならず、県内大学の魅力向上や情報発信力の強化に加えて若い方々の富山への定住にもつながるものと考えている。

県としては、こうした取組みを通じ、地域産業を支える人材育成の拠点として、また、国内外に発信する学術研究の拠点として、県内大学の魅力をさらに高め、県内大学への進学や県外学生の誘致につながるよう努めてまいりたい。



6月県議会で、子育て、教育問題で議論



(五十嵐) 子育て応援券事業について、これまでの利用状況をどのように評価しているのか。

(石井知事) 子育て応援券事業については、乳幼児医療費助成制度に平成20年度から導入した所得制限により生じた財源を活用したものである。

昨年度末までに市町村を通じて配布された応援券は、約7万5,300人分、金額にして約9億7,400万円となっており、有効期間が満了した応援券は80%以上の高い利用率で推移している。昨年度、利用されたサービスのうち、「予防接種」の割合が最も高く、次いで「読み聞かせ絵本購入」、「母乳相談」の順となっており、保健分野、保育・育児支援分野、いずれの分野においても幅広く利用されている。

応援券の配布対象者に対して27年度に行ったアンケート調査では、利用された86.3%の方から「満足している」との回答があり、その理由として「任意の予防接種が高額なので助かった」「経済的に助かった」などの声が多く、高い評価をいただいている。

県としてはこれまでもアンケート調査や、有識者などの意見を踏まえ、有効期間の延長、対象サービスの拡大など子育て家庭が使いやすい制度となるよう改善を重ねてきているところであるが、今後もサービス内容の充実や、利用促進等に努めてまいりたい。

(五十嵐) 希望出生率1.9の達成に向けた取組みは、長期的な展望に立って行う必要があることから、これまでの子育て支援策を継続することに加え、さらなる拡充が必要と考えるが、どのように取り組むのか。

(石井知事) 合計特殊出生率は、10年前は1.34と低い時期もあつたが、28年の結果によると、1.50となり、27年に21年ぶりに回復した1.50台を引き続き維持し、上昇傾向にある。

本年度は、子育て家庭の意識調査を行い、子育て支援施策の充実を検討することとなるが、例えば、ご提案の①ひとり親や低所得世帯に対する保育料助成の拡充、②病児・病後児保育の利用に対する支援の拡充、③産後ケア対策の充実、④女性活躍・働き方改革の推進やイクボス企業の普及、企業子育ての向上とあわせた仕事と子育ての両立の支援策の充実などが検討の対象、課題となるのではないかと考えている。

県としては、未来創生のためにも希望出生率1.9の達成に向けて、今後どのような施策を充実していくべきかについて、しっかりと検討し取り組んでまいりたい。



(五十嵐) 政府有識者会議の中間報告では、東京の大学の学生を地方へ還流させることをねらいとして、富山県が提案した内容が盛り込まれているが、今後、本県として、こうした内容の実現を目指して、どのように取り組むのか。

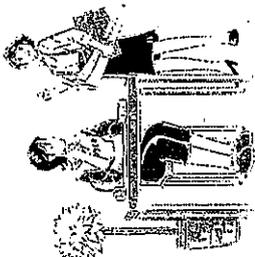
(石井知事) 東京一極集中の是正に向けて、①東京23区への大学の学部・学科の新増設の抑制、②産学連携によるモデル的なプロジェクトに對する新たな財政支援制度の創設の検討のほか、委員ご指摘のように東京の学生に地方での就業を意欲づける観点から、③単位互換制度等の連携強化により学生が相互に対流・還流する仕組みの構築や、④3年間は東京圏で学修し、4年次に地方に戻って学修する協賛会を作り、県内大学全体を推進、⑤東京圏の大学の創設などについて提案した。県としても、東京圏の学生を対象とした促進する全国的な仕組みの創設などについて提案した。県としても、東京圏のアルミ分野、デザイン分野では学修できない「富山ならではの」教育プログラムの提供や、産学官のアルミ分野、デザイン分野などのコンソーシアムによるインターンシップの受け入れなども検討しているところである。今後、国による制度化の動きと連携しながら、こうした取組みを進め、本県出身の学生はもとより、東京圏の学生が富山で学び、将来的に富山で職を得て定住いただくといった流れを作り出せるよう努力してまいりたい。

(五十嵐) 私立大学も含めた県内大学間の連携を図り、県内大学全体としての魅力向上や情報発信に努めたうえで、県内大学への進学、県外からの学生誘致にどのように取り組むのか。

(石井知事) 県内大学全体として、県内高等教育機関の連携組織である大学コンソーシアム富山において、単位互換科目の開講や、富山県内の大学で学ぶ魅力を伝えるパンフレットの配付など、県内各大学の魅力向上や情報発信に連携して取り組んでいる。

また、学生の県内就職率10ポイント向上を目標に、地域志向科目の開講や合同企業訪問などに各大学が連携して取り組んでおり、県もこれらの取組みを支援してきたところである。

さらに、医薬品、アルミ、デザイン関係分野での産学官連携の取組みは、当該産業の振興と専門人材の育成のみならず、県内大学の魅力向上や情報発信力の強化に加えて若い方々の富山への定住にもつながるものと考えている。県としては、こうした取組みを通じ、地域産業を支える人材育成の拠点として、また、国内外に発信する学術研究の拠点として、県内大学の魅力をさらに高め、県内大学への進学や県外学生の誘致につながるよう努めてまいりたい。



整理番号	1117	事業概要	新聞代		
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	新聞代7月分				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)		備考	
	富山新聞	3072			
	農業新聞	2623			
	《合計》	5695			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
29-08-02 *3,072 トヤマシンブン 29-07-21 農業新聞 *2,623					

收受 平成 29 年 8 月 25 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日

整理番号	1670	事業概要	県政報告書用写真作成費		
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
内容	県政報告「つとむ通信 58号」用写真				
上記正に領収した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	写真作成代	12960	しらさぎフォト		
	《合計》	12960			
《領収書貼付		領 収 証			紙に整理すること。
		No. <u>29年9月25日</u>			
		五十嵐 務 様			
		Y 12,960			
		但 議会報告用写真 上記正に領収いたしました			
内 訳					
現金					
小切手	/				
手形	/				
消費税額(%)					
		しらさぎフォト 富山市豊田本町2-16-35 〒931-8312 TEL:076-438-3326			

收受 平成 29 年 10 月 19 日
 決裁 平成 29 年 10 月 25 日
 処理 平成 29 年 10 月 25 日



024.jpg



023.jpg



022.jpg



021.jpg



004.jpg



003.jpg



002.jpg



001.jpg



028.jpg



027.jpg



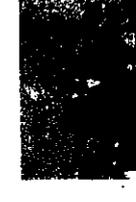
026.jpg



025.jpg



008.jpg



007.jpg



006.jpg



005.jpg



032.jpg



031.jpg



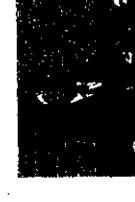
030.jpg



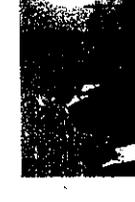
029.jpg



012.jpg



011.jpg



010.jpg



009.jpg



036.jpg



035.jpg



034.jpg



033.jpg



016.jpg



015.jpg



014.jpg



013.jpg



040.jpg



039.jpg



038.jpg



037.jpg



020.jpg



019.jpg



018.jpg



017.jpg



041.jpg



042.jpg



043.jpg



044.jpg



045.jpg



046.jpg



047.jpg



048.jpg



049.jpg



050.jpg



051.jpg



052.jpg



053.jpg



054.jpg



055.jpg

整理番号	1671	事業概要	県政報告書			
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容	県政報告「つとむ通信 57号」 送料 5050部分					
上記事業に用いた経費	経費の内容	金額(円)	備考			
	郵送費	381780	5050部 日本郵便株式会社			
	<合計>	381780				

振替払込請求書 兼受領証

00180 3 901196

日本郵便株式会社

381780

930-0801
富山県富山市中島3丁目7-20 佐竹ビル1F

県議会議員 五十嵐 務 様

日 附 印

29-10-13
富山駅北郵便局

(32232)
N94120003

この受領証は、大切に保管してください

(ご注意)

- この用紙は、機械で処理しますので、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知する場合があります。
- この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

200円

富山駅北郵便局長

付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

收受 平成 29 年 10 月 19 日

決裁 平成 29 年 10 月 25 日

処理 平成 29 年 10 月 25 日

930-0801
富山県富山市中島3丁目7-20 佐竹
ビル1F

県議会議員 五十嵐 務

様

0077293# C13 2001043291-000001

■郵便物の返還先
富山南郵便局
930-8799
富山県富山市堀川町257-2

076-421-3383

請求書 (Bill)

県議会議員 五十嵐 務

様

日本郵便株式会社 

平素は、格別のお引き立てに預かり、誠にありがとうございます。
料金後納ご利用額につき、下記のとおりご請求させていただきます。
同封の払込取扱票にて、最寄りの郵便局またはゆうちょ銀行でお振込みください。
※ゆうちょダイレクトによるご送金はできませんのでご注意ください。

【お問合せ先】
富山南郵便局
電話：076-421-3383

ご請求番号 (Billing ID)	ご請求額 (Charge)	お支払期限 (Due Date)	発行日 (Date of Issue)
322130-1007717-00	381,780 円 (うち消費税相当額) 28,280 円	2017年 9月 29日	2017年 9月 6日
ご請求の内訳 (Billing Details)			
2017/08/01~2017/08/31 料金後納ご利用額		381,780円	

お支払期限までにお支払いいただけない場合、その期限の翌日から年14.5%の延滞利息をお支払いいたします。
「犯罪による収益の移転防止に関する法律」(平成19年法律第22号)により、10万円を超える額をお支払の際には、ご利用金融機関の窓口において、お客さまご本人のお名前、ご住所、生年月日が記載された証明書類をご提示いただくことが必要となります(詳しくは最寄の郵便局またはゆうちょ銀行にお問合せください)。

平成29年
夏号
第57号

つとむ通信

発行人／富山県議会自民党議員会 五十嵐 務

中学校卒業生数が、来年度に1万人を切り、急速な減少が見込まれる中、38校を維持した場
合、1学年の平均学級数が2031年には3.5となり、新川・砺波両学区では、全校が3学級以下
になります。また中学卒業生の進学地域のデータでも、広い範囲から選んでいることがわか
り、再編を実施することが望ましいと考えます。

今後の学級編制の見込み

(学校数を維持し、学区域でのみ対応した場合)

学級数	新川学区 (8校)	富山学区 (13校)	砺波学区 (5校)
8	1校	3校	1校
7		3校	1校
6	1校	3校	1校
5	2校	3校	2校
4	4校	2校	3校
3	1校	1校	4校
2			1校
1			1校

※新川学区182 平均学級数4.8

学級数	富山学区 (13校)	砺波学区 (5校)
8		
7		
6	3校	
5	4校	
4	5校	7校
3	5校	4校
2		
1		1校

※富山学区148 平均学級数3.8

学級数	富山学区 (13校)	砺波学区 (5校)
8		
7		
6	1校	
5	4校	
4	7校	4校
3	1校	7校
2	1校	
1		1校

※富山学区133 平均学級数3.5

○…最後に質問に立った五十嵐氏は県立高校の再編
を取り上げた。今定例会で、この問題をただすのは10
人目。

反対意見や慎重論を唱えた他の議員とは異なり、再
編を支持する論陣を張った。自身の前代時代の思い出
も交え、「議会では少数派かもしれないが、子どもた
ちの将来を考えれば決断すべきだ」と力を込めた。

記者席 知事 援軍、に感謝

これに対し、知事は「再編は大変重要なテーマ」とし、
時間をかけて検討して言ったと説明。今後も幅広い意見
を聞き、丁寧に議論を進める考えを改めて強調した。
初めて「援軍」を得た喜みから、取組には否井番
から目を離し、「身に染み込む大変いお話をいただい
た」と感謝する一環も。議論をすすめていけば曲折も予
想されるだけに、大いに励まされた？

(北日本新聞)



中学卒業生の地元県立高校への進学率

学区	市町	比率(%)	学区	市町	比率(%)
新川	朝日町	20	富山	富山市	58
	入善町	28		射水市	25
	黒部市	26	高岡	高岡市	46
砺波	魚津市	30		氷見市	41
	滑川市	24		砺波市	28
	上市町	24		南砺市	41
	立山町	16		小矢部市	27

※過去3年の平均
舟橋村は市内に県立高校なし

県政に対するご意見をお寄せ下さい。

E-mail: [Redacted]

事務所／〒980-0801 富山市中島3-7-20 佐竹ビル1F
TEL076-441-4141 FAX076-445-1882

子供たちのために高校再編を

富山県議会議員 五十嵐 務

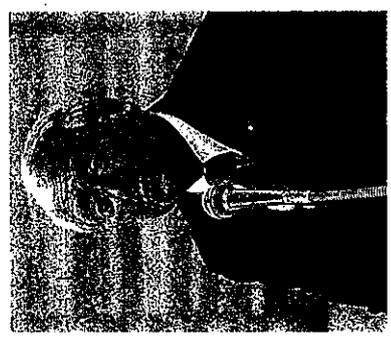
6月県議会で、高校再編問題について、代表・一般・予算
特別委員会で各党の議員から多くの質問がありました。ほと
んどの議員は慎重な立場で聞いておられましたが、私は、高校
再編は積極的に進めるべきとの考えでいます。

高校再編に慎重な方々の意見では、高校は地域のアイデン
ティティのひとつであり、町から高校がなくなるのは、地域の
子供たち、住民にとつて大変不幸なことである。地域の活性化
が図られるような配慮が必要であり、「一市町一高校」を保持
してもらいたい。地域に進学の選択肢がないという状況は、
子供を産み育てる気持ちに随分と阻害をかけ、少子化に拍車をか
ける可能性があると考えられます。

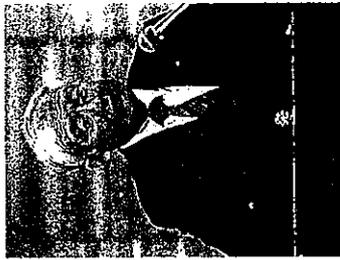
私は、地域活性化は二の次であり、あくまで教育ということを考えて進めてもらいたい。高校は地域
の文化・歴史を作る場所ではあるが、それ以上に、高校生を未来を背負うための場所であることが一番
大切な存在の意義。高校再編は、子供ファーストで考えていくべきで、高校生の教育環境をどのように
整備、充実させていくかが基本であると考えます。

高校再編について議論している、総合教育会議での発言をみても、「地理的にみた場合、富山県
は、小規模校を残さなければ高校教育の機会を提供できない地域が相対的に少ない。この地理的条件
を活かして、高校教育の質を向上させざるを得ない」と、お茶の水女子大学の耳塚教授が
述べておられます。

子供たちの人生を考えると、一定規模の学校であるべきであり、また部活動もいろいろ選択できるこ
とが望ましいと思っています。ただ通学の便などを考えると、公共交通網などの更なる整備も必要です。
再編の基本方針が定まれば、次の段階として、再編の対象校や実施時期など、具体的な再編計画を策定
していくこととなります。平成30年からの生徒数の減少や、平成32年からの急減を踏まえると、いつ
までも議論ばかりして方向がでないというわけにはいかず、そろそろ大きな方針を示すべき時であり、
子供たちが県内で学ぶよりよい形を示していかなければならないと考えます。



6月県議会で、子育て、教育問題で議論



(五十嵐) 子育てで応援券事業について、これまでの利用状況をどのように評価しているのか。

(石井知事) 子育て応援券事業については、乳幼児医療費助成制度に平成20年度から導入した所得制限により生じた財源を活用したものである。昨年度末までに市町村を通じて配布された応援券は、約7万5,300人分、金額にして約9億7,400万円となっており、有効期間が満了した応援券は80%以上の高い利用率で推移している。昨年度、利用されたサービスのうち、「予防接種」の割合が最も高く、次いで「読み聞かせ絵本購入」、「母乳相談」の順となっており、保健分野、保育・育児支援分野、いずれの分野においても幅広く利用されている。

応援券の配布対象者に対して27年度に行ったアンケート調査では、利用された86.3%の方から「満足している」との回答があり、その理由として「任意の予防接種が高額なので助かった」「経済的に助かった」などの声が多く、高い評価をいただいている。

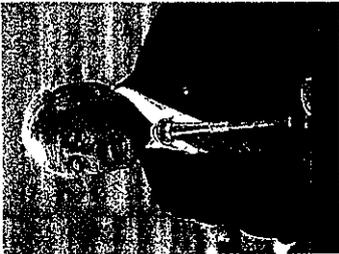
県としてはこれまでもアンケート調査や、有識者などの意見を踏まえ、有効期間の延長、対象サービスの拡大など子育てで家庭が使いやすい制度となるよう改善を重ねてきているところであるが、今後もサービスの充実や、利用促進等に努めてまいりたい。

(五十嵐) 希望出生率1.9の達成に向けた取り組みは長期的な展望に立って行う必要があることから、これまでの子育て支援策を継続することに加え、さらなる拡充が必要と考えるが、どのように取り組むのか。

(石井知事) 合計特殊出生率は、10年前は1.34と低い時期もあったが、28年の結果によると、1.50となり、27年に21年ぶりに回復した1.50台を引き続き維持し、上昇傾向にある。

本年度は、子育て家庭の意識調査を行い、子育て支援策の充実を検討することとなるが、例えば、ご提案の①ひとり親や低所得世帯に対する保育料助成の拡充、②病児・病後児保育の利用に対する支援の拡充、③産後ケア対策の充実、④女性活躍・働き方改革の推進やイクボス企業の普及、企業子育て支援の向上とあわせた仕事と子育ての両立の支援策の充実などが検討の対象、課題となるのではないかと考えている。

県としては、未来創生のためにも希望出生率1.9の達成に向けて、今後どのような施策を充実していくべきかについて、しっかりと検討し取り組んでまいりたい。



(五十嵐) 政府有識者会議の中間報告では、東京の大学の学生を地方に運流させることをねらいとして、富山県が提案した内容が盛り込まれているが、今後、本県として、こうした内容の実現を目指して、どのように取り組むのか。

(石井知事) 東京一極集中の是正に向けて、①東京23区への大学の学部・学科の新増設の抑制、②産学官連携によるモデル的なプロジェクトに対する新たな財政支援制度の創設の検討のほか、委員ご指摘のように東京の学生に地方での就業を意識づける観点から、③単位互換制度等の連携強化により学生が相互に対流・運流する仕組みの構築や、④3年間は東京圏で学修し、4年次に地方に戻って学修するプログラムの取組みの推進、⑤東京圏の大学で構成する協議会を作り、地元企業のニーズに対応してインターンシップを促進する全国的な仕組みの創設などについて提案した。県としても、東京圏の学生を対象とした東京圏では学修できない「富山ならでは」の教育プログラムの提供や、産学官のアルミ分野、デザイン分野などのコンソーシアムによるインターンシップの受入れなども検討しているところである。今後、国による制度化の動きと連携しながら、こうした取組みを進め、本県出身の学生はもとより、東京圏の学生が富山で学び、将来的に富山で職を得て定住いただくといった流れを作り出せるように努力してまいりたい。

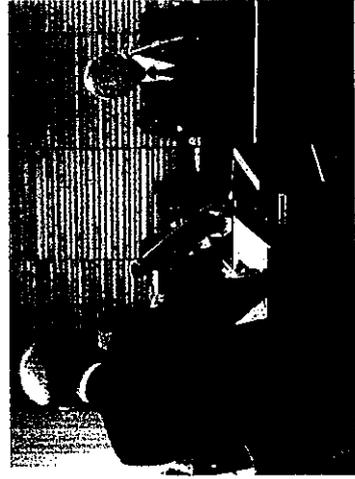
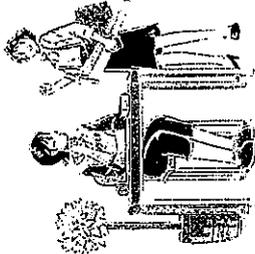
(五十嵐) 私立大学も含めた県内大学間の連携を図り、県内大学全体としての魅力向上や情報発信に努めたうえで、県内大学への進学、県外からの学生誘致にどのように取り組むのか。

(石井知事) 県内大学全体として、県内高等教育機関の連携組織である大学コンソーシアム富山において、単位互換科目の開設や、富山県内の大学で学ぶ魅力を伝えるパンフレットの配付など、県内各大学の魅力向上や情報発信に連携して取り組んでいる。

また、学生の県内就職率10ポイント向上を目標に、地域志向科目の開設や合同企業訪問などに各大学が連携して取り組んでおり、県もこれらの取組みを支援してきたところである。

さらに、医薬品、アルミ、デザイン関係分野での産学官連携の取組みは、当該産業の振興と専門人材の育成のみならず、県内大学の魅力向上や情報発信力の強化に加えて若い方々の富山への定住にもつながるものと考えている。

県としては、こうした取組みを通じ、地域産業を支える人材育成の拠点として、また、国内外に発信する学術研究の拠点として、県内大学の魅力をさらに高め、県内大学への進学や県外学生の誘致につながるよう努めてまいりたい。



整理番号	1672	事業概要	新聞代
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	新聞代8~10月分		
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	富山新聞	6144	9~10月分
	農業新聞	5246	8~9月分
	《合計》	11390	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			
29-09-04		*3,072	トヤマシンファン
29-10-02		*3,072	トヤマシンファン
29-08-21	農業新聞	*2,623	
29-09-21	農業新聞	*2,623	

收受 平成 29 年 10 月 19 日
 決裁 平成 29 年 10 月 25 日
 処理 平成 29 年 10 月 25 日

整理番号	2432	事業概要	県政報告書用写真作成費		
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費
					05_会議費
					10_人件費
内容	県政報告「つとむ通信 58号」用写真				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	写真作成代	20000	タニナカフォトスタジオ		
		《合計》	20000		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

収受 平成 30年 / 月23日
 決裁 平成 30年 / 月23日
 処理 平成 30年 / 月24日

領 収 証

No. _____

五十嵐 裕 様

29年 9月 30日

★ 10,000

但 振込

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

タニナカフオスタジオ

T930-0816 富山市上赤江町2-3-11

TEL・FAX 076-442-7002

領 収 証

No. _____

五十嵐 裕 様

29年 11月 30日

★ 10,000

但 振込

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

タニナカフオスタジオ

T930-0816 富山市上赤江町2-3-11

TEL・FAX 076-442-7002

食品ロス削減へ「とやま食ロスゼロ作戦」

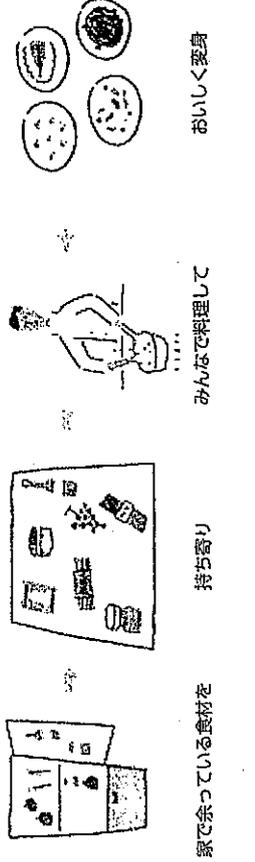
平成28年5月に富山県で開催されたG7環境大臣会合で採択された「富山県物価循環フレームワーク」には、食品ロス・食品廃棄物の効果的なリサイクルなどが盛り込まれました。これを受けて富山県では、食品ロス削減に向け、全国のモデル県として県民運動に取り組みを進めています。私が会長を務める富山県環境保健衛生連合会でも重点事業として取り組みを強化しています。

食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず廃棄されているものです。県では、平成28年から29年にかけて、県内における食品ロスの実態を把握するため調査したところ、県全体の食品廃棄物の量は推計で約17万トン、うち食品ロスは約4万トンという結果でした。家庭から出る食品ロスのうち、「手付かず食品」が69%、「食べ残し」が31%と推計され、全国に比べて「手付かず食品」の割合が高い傾向にありました。

県では、立山の標高3015メートルにちなみ、30と15をキーワードにしたとやま型の食品ロス削減運動「3015（さんまるいちご）運動」を展開しています。

- 「使い切り 3015」**
毎月30日と15日に冷蔵庫などをチェックし食材を使い切る
- 「食べきり 3015」**
宴会の開始後30分と終了前15分間、食事を楽しむ時間を設定し食べきる

楽しみながら食品ロス削減に取り組む機会を提供するため、家庭で余っている食材を持ち寄り、おいしい料理に変身させる「サルベージ（救助）パーティ」を開催してみませんか。



家で余っている食材を 持ち寄り みんなで料理して おいしく変身
消費者としてできること

県政に対するご意見を布寄せ下さい。
E-mail: [Redacted]

事務所／〒930-0801 富山県中島3-7-20 佐竹ビル1F
TEL076-441-4141 FAX076-445-1882

つとむ通信

平成30年
新春号
第58号

発行人／富山県議会自民党議員会 五十嵐 務

富岩環水公園、全国トップクラスの観光資源へ

富山県議会議員 五十嵐 務

昨年3月末に一部開館、8月末に全面オープンした富山県美術館は、予想を上回る多くの来場がありこれまでに約100万人の方が訪れています。

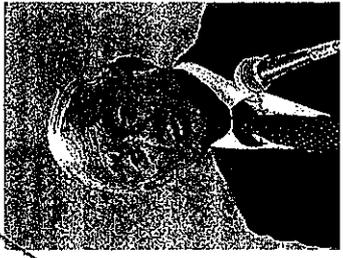
富岩水上ラインは、平成21年度の就航以来、年々乗客数が増加しており、去年の利用者数は58,323人、対前年比14%増と、過去最高を記録しました。また、県外利用者が全体の約7割、特に首都圏からの利用者が全体の4分の1となるなど、富山県の代表的な観光資源として県内外に広く定着しつつあります。乗船客からは、「中島開門での水のエレベーターに感動した」や「富岩運河沿いの桜並木の景色に心を癒された」といった意見をお聞きます。

また環水公園全体の利用者数は、平成19年度は約70万人、平成28年度には約157万人となっており、四季を通じての各種のイベントも人気で、今年度は250万人が見込まれるなど、北陸や日本海側有数の観光拠点となっています。

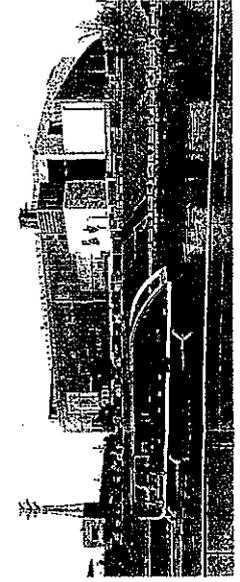
こうしたことから、昨年の6月議会で私から提案してきた、富岩水上ラインに新鋭船を導入、平成31年3月から4艇体制に拡充することになりました。新鋭船には既存の3艇にはないエアコンやトイレが設けられる予定です。現在は3月から11月の運行に限られていますが、新鋭船を活用すれば冬季を含めた通年運行も可能となります。

富岩水上ラインは花見ナイトクルーズが好評ですが、冬の雪見クルーズも他の季節とは違った風情があり、船上から雪化粧の立山連峰の絶景を望むこともできます。春夏秋冬、季節ごとの運河クルーズの醍醐味を提案できれば魅力はより高まります。

これからも、水上ラインの更なる魅力や快適性の向上に努め、富岩運河環水公園や富山美術館とともに、県内外から多くの人々が訪れる北陸有数・全国トップクラスの観光資源として、さらに飛躍するように取り組んでいきます。



(スイトクリスマス)



(富山県美術館)

認知症施策取り組み強化を

富山県が平成26年度に実施した実態調査では、富山県内の高齢者は約5万人。そのうち6人に1人と推定され、2025年には約67,000人に増加すると見込まれています。認知症施策の推進は大変重要であり11月に開かれた厚生労働委員会です。この取り組みについて議論しました。

今後の富山県の認知症施策については、国の基本指針で新たに認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり、認知症の人やその家族の視点を重視した取り組みを進めることが加わったことから、「認知症になっても安心な地域支援体制」の構築を図るため、これまで進めてきた取り組みに加え、認知症高齢者とその家族等を支える相談体制の充実や、地域における見守り体制の構築などに取り組みたいと、前田厚生都長が答弁しました。

また、65歳未満で発症する若年性認知症対策も大きな課題です。平成21年に行った厚生労働省の調査では、国内の若年性認知症患者は約37,800人と推定され、発症の平均年齢は51.3歳で女性より男性に多いといわれています。県内の患者数は全国の1%とすれば約380人と推定されます。

県内では、平成28年7月に富山県総合福祉会館内に若年性認知症相談・支援センターを開設し、医療・介護・福祉・就労などについての相談・支援を行っています。若年性認知症については、受診・検診が遅れる、就労を希望しても受け入れ可能な事業所がない、自宅以外に居場所がない、家族の心労が大きいため、早期相談や受診につながるための啓発活動、労働担当者との連携による就労支援、仲間や支援者との出会いにつながる居場所づくりへの支援などが必要です。

京都府では、初期から軽度の認知症の人を、医療から生活まで総合的に支援する「リンクワーカー制度」を立ち上げています。また北九州市では、自治体だけでなく地元医師会や市民団体などと連携し、ワンストップ拠点「認知症支援・介護予防センター」を開設するなど参考になる取り組みも行われています。富山県においても、他の都道府県の取り組みを参考に有意義で有効な認知症施策の推進にしっかりと取り組んでいきます。



医療・看護施策の充実を申し入れ

自民党医療問題調査会は、平成20年の設置以来、県内における医療に関する施策を総合的に推進し、県民の健康増進と県民生活の向上に寄与するため、各種関係団体との意見交換を通じて、医療関連施策の提言を行ってきました。また平成26年には、県内の看護対策を一層推進するため、看護職員連盟を設立しました。

私は設立当初から二つの事務局長を務め、要望・提言の取りまとめを行ってきています。新年度予算に向けて11月17日、鹿嶋会長とともに知事に対して要望書を提出しました。

近年は、急速に進む少子高齢化、生活習慣病、認知症高齢者の増加、医療技術の専門・高度化、ITを活用した医療連携の推進、医師・看護職員の不足、国における社会保障と税の一体改革など、保険医療を取り巻く環境が大きく変化しています。こうした情勢に適切に対応するため、国の医療施策が富山県の目指す方向に即したものであるよう国に働きかけを強めるとともに、県としても一層の医療施策の充実を積極果敢に取り組みよう要望しました。

(主な要望事項)

- ① 医師・看護職員等医療従事者の確保
 - ・ 研修医数の増加・確保のための対策に引き続き働き支援するとともに、初期臨床研修修了後の後期研修医が増えるような対策を行う
 - ・ 県立大学看護学部において、看護職員へのキャリア支援を行う
 - ・ 介護施設等における看護の質の向上（養成・在宅支援・技術指導）
- ② 地域医療体制の充実
 - ・ 医師が在宅医療に取り組み環境整備を進め、在宅診療を担う医師を確保していく
 - ・ 訪問看護ステーションの大規模化・ネットワーク化や活用促進への支援
 - ・ 子どもの発達障害への対応力の向上、小児在宅医療の充実
- ③ 全県的な救急・周産期医療体制の充実
 - ・ 産科オーブンシステム導入の導入、助産師外来の推進など参加・小児科の医療体制の充実
 - ・ ドクターヘリへの成果は目覚ましいものがあるが、運行時間外や緊急条件等の課題もあり、ドクターヘリとドクターカーの併用が理想のため、早急にドクターカーの導入の検討



知事に手渡し、議席での説明

整理番号	2433	事業概要	県政報告書及び封筒作成		
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費
				05_会議費	10_人件費
内容	県政報告「つとむ通信 58号」作成 20000部 長3封筒（H1ソフトアクア） 10000枚				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	つとむ通信58号	221400	/		
	長3封筒	47520	/		
	《合計》	268920	/		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 30年 / 月 23日
 決裁 平成 30年 / 月 23日
 処理 平成 30年 / 月 24日

食品ロス削減へ「とやま食ロスゼロ作戦」.....

平成28年5月に富山県で開催されたG7環境大臣会合で採択された「富山県物質循環フレームワーク」には、食品ロス・食品廃棄物の効果的なりサイクル的な取り組みが盛り込まれました。これを受けて富山県では、食品ロス削減に向け、全国のモデル県として県民運動に取り組みを強化してまいります。私が会長を務める富山県環境保健衛生連合会でも重点事業として取り組みを強化してまいります。

食品ロスは、本来食べられるにも関わらず廃棄されているものです。県では、平成28年から29年にかけて、県内における食品ロスの実態を把握するため調査したところ、県全体の食品廃棄物の量は推計で約17万トン、うち食品ロスは約4万トンという結果でした。家庭から出る食品ロスのうち、「手付かず食品」が69%、「食べ残し」が31%と推計され、全国に比べて「手付かず食品」の割合が高い傾向にあります。

県では、立山の標高3015メートルにちなみ、30と15をキーワードにしたとやま型の食品ロス削減運動「3015（さんままるいちご）運動」を展開しています。

「使い切り 3015」

毎月30日と15日に冷蔵庫などをチェックし食材を使い切る

「食べきり 3015」

宴会の開始後30分と終了前15分間、食事を楽しむ時間を設定し食べきる

楽しみながら食品ロス削減に取り組む機会を提供するため、家庭で余っている食材を持ち寄り、おいしい料理に変身させる「サルベージ（救助）パーティ」を開催してみませんか。



家で余っている食材を

持ち寄り

みんなで作って料理して

おいしい薬身

消費者としてできること

買わずに、使い切る、食べきる

県政に対するご意見を寄せ下さい。

E-mail: [Redacted]

事務所/〒930-0801 富山市中島3-7-20 佐竹ビル1F
TEL076-441-4141 FAX076-445-1882

つとむ通信

平成30年

新春号

第58号

発行人/富山県議会民主党議員会 五十嵐 務

富岩環水公園、全国トップクラスの観光資源へ

富山県議会議員 五十嵐 務

昨年3月末に一部開館、8月末に全面オープンした富山県美術館は、予想を上回る多くの来場がありこれまでに約100万人の方が訪れています。

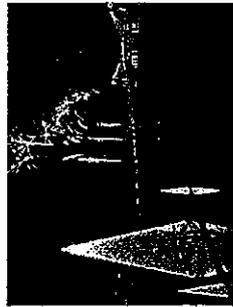
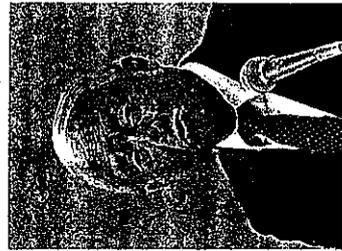
富岩水上ラインは、平成21年度の就航以来、年々乗客数が増加しており、去年の利用者数は58,323人、対前年比14%増と、過去最高を記録しました。また、県外利用者が全体の約7割、特に首都圏からの利用者が全体の4分の1とあります。富山県の代表的な観光資源として県内外に広く定着しつつあります。乗船客からは、「中島開門での水のエレベーターに感動した」や「富岩運河沿いの桜並木の景色に心を癒された」といった意見をお聞きます。

また環水公園全体の利用者数は、平成19年度は約70万人、平成28年度には約157万人と増えていますが、四季を通じての各種のイベントも人気で、今年度は250万人が見込まれるなど、北陸や日本海側有数の観光拠点となっています。

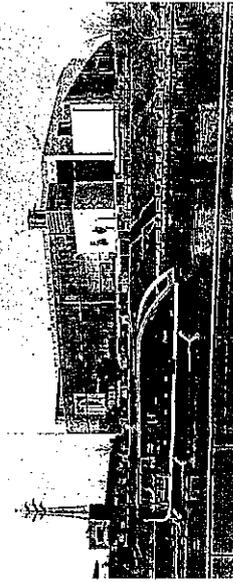
こうしたことから、昨年の6月議会でも私から提案してきた、富岩水上ラインに新船を導入、平成31年3月から4艇体制に拡充することになりました。新船には既存の3艇にはないエアコアやトイレが設けられる予定です。現在は3月から11月の運行に限られていますが、新船を導入すれば冬季を含めた通年運行も可能となります。

富岩水上ラインは花見ナイトクルーズが好評ですが、冬の雪見クルーズも他の季節とは違った風情があり、船上から雪化粧の立山連峰の絶景を望むこともできます。春夏秋冬、季節ごとの運河クルーズの醍醐味を提案できれば魅力はより高まります。

これからも、水上ラインの更なる魅力や快適性の向上に努め、富岩運河環水公園や富山美術館とともに、県内外から多くの人々が訪れる北陸有数・全国トップクラスの観光資源として、さらに飛躍するように取り組んでいきます。



(スイートクリスマス)



(富山県美術館)

認知症施策取り組み強化を

富山県が平成26年度に実施した実態調査では、富山県内の高齢者は約5万人。そのうち6人に1人と推定され、2025年には約67,000人に増加すると見込まれています。

認知症施策の推進は大変重要であり11月に開かれた厚生環境委員会でこれからの取り組みについて議論しました。

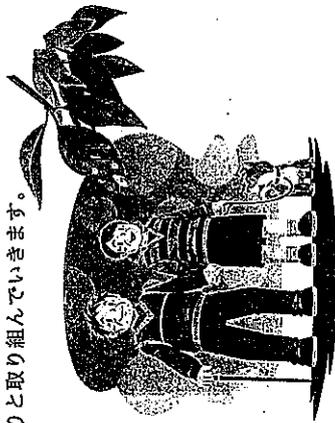
今後の富山県の認知症施策については、国の基本指針で新たに認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり、認知症の人やその家族の悩点を重視した取り組みを進めることが加わったことから、「認知症になっても安心な地域支援体制」の構築を図るため、これまで進めてきた取り組みに加え、認知症高齢者とその家族等を支える相談体制の充実や、地域における見守り体制の構築などに取り組んでいきたいと、前田厚生部長が答弁しました。



また、65歳未満で発症する若年性認知症対策も大きな課題です。平成21年に行った厚生労働省の調査では、国内の若年性認知症患者は約37,800人と推定され、発症の平均年齢は51.3歳で女性より男性に多いといわれています。県内の患者数は全国の1%とすれば約380人と推定されます。

県内では、平成28年7月に富山県総合福祉会館内に若年性認知症相談・支援センターを開設し、医療・介護・福祉・就労などについての相談・支援を行っています。若年性認知症については、受診・検診が遅れる、就労を希望しても受け入れ可能な事業所がない、自宅以外に居場所がない、家族の心労が大きいため、早期相談や受診につながるための啓発活動、労務担当者との連携による就労支援、仲間や支援者との出会いにつながる居場所づくりへの支援などが必要とされています。

京都府では、初期から軽度の認知症の人を、医療から生活まで総合的に支援する「リンクワーカー制度」を立ち上げています。また北九州市では、自治体だけでなく地元の医師会や市民団体などと連携し、ワンストップ拠点「認知症支援・介護予防センター」を開設するなど参考になる取り組みも行われています。富山県においても、他の都道府県の取り組みを参考に有意義で有効な認知症施策の推進にしっかりと取り組んでいきます。



医療・看護施策の充実を申し入れ

自民党医療問題調査会は、平成20年の設置以来、県内における医療に関する施策を総合的に推進し、県民の健康増進と県民生活の向上に寄与するため、各種関係団体との意見交換を通じて、医療関連施策の提言を行ってきました。また平成26年には、県内の看護対策を一層推進するため、看護職員連盟を設立しました。

私は設立当初から二つの事務局局長を務め、要望・提言の取りまとめを行ってきています。新年度予算に向けて11月17日、鹿熊会長とともに知事に対して要望書を提出しました。

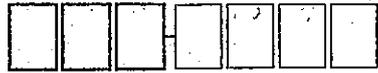
近年は、急速に進む少子高齢化、生活習慣病、認知症高齢者の増加、医療技術の専門・高度化、ITを活用した医療連携の推進、医師・看護職員の不足、国における社会保障と税の一体改革など、除医療を取り巻く環境が大きく変化しています。こうした情勢に適切に対応するため、国の医療施策が富山県の目指す方向に即したものであるよう国に働きかけを強めることにも、県としても一層の医療施策の充実に積極果敢に取り組むよう要望しました。

(主な要望事項)

- ① 医師・看護職員等医療従事者の確保
 - ・ 研修医数の増加・確保のための対策に引き続き支援するとともに、初期臨床研修終了後の後期研修医が増えるような対策を行う
 - ・ 県立大学看護学部において、看護職員へのキャリア支援を行う
 - ・ 介護施設等における看護の質の向上（育成・在宅支援・技術指導）
- ② 地域医療体制の充実
 - ・ 医師が在宅医療に取り組む環境整備を進め、在宅診療を担う医師を確保していく
 - ・ 訪問看護ステーションの大規模化・ネットワーク化や活用促進への支援
 - ・ 子どもの発達障害への対応力の向上、小児在宅医療の充実
- ③ 全県的な救急・周産期医療体制の充実
 - ・ 産科オーブンシステムへの導入・助産師外来の推進など参加・小児科の医療体制の充実
 - ・ ドクターヘリの成果は目覚ましいものがあるが、運行時間外や気象条件等の課題もあり、ドクターヘリとドクターカーの併用が理想のため、早急にドクターカーの導入の検討



知事に手渡し、満席での説明



料金後納

ゆうメール

富山県議会議員

五十嵐 務

〒930-0801 富山市中島3-7-20
佐竹ビル1F
TEL (076) 441-4141
FAX (076) 445-1882

整理番号	2668	事業概要	県政報告書郵送代
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容	県政報告「つとむ通信 5・8号」 4812通		

経費の内容	金額(円)	備考
つとむ通信58号郵送代	336840	日本郵便
《合計》	336840	

振替払込請求書
兼受領証

通常払込料金
加入者負担

00180 3 901196

日本郵便株式会社

金額 336840

930-0801
富山県富山市中島3丁目7-20 佐竹ビル1F
県議会議員 五十嵐 務 様

日 附 印
30-02-16
富山駅北郵便局
(32232)
N94250009

この受領証は、大切に保管してください。

(ご注意)

- この用紙は、機械で処理しますので、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとところ、おなまえ等は、加入者様に通知する場合があります。
- この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
200円
富山駅北郵便局

付しきれない場合は、別紙に整理すること。

收受 平成 30 年 2 月 16 日
 決裁 平成 30 年 2 月 19 日
 処理 平成 30 年 2 月 20 日

食品ロス削減へ「とやま食ロスゼロ作戦」

平成28年5月に富山県で開催されたG7環濠大臣合会で採択された「富山県物質循環フレームワーク」には、食品ロス・食品廃棄物の効果的なりサイクルなどが盛り込まれました。これを受けて富山県では、食品ロス削減に向け、全国のモデル県として県民運動に取り組みたいです。私が会長を務める富山県環境保健衛生連合会でも重点事業として取り組みを強化しています。

食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず廃棄されているものです。県では、平成28年から29年にかけて、県内における食品ロスの実態を把握するため調査したところ、県全体の食品廃棄物の量は推計で約17万トン、うち食品ロスは約4万トンという結果でした。家庭から出る食品ロスのうち、「手付かず食品」が69%、「食べ残し」が31%と推計され、全国に比べて「手付かず食品」の割合が高い傾向にありました。

県では、立山の標高3015メートルにちなみ、30と15をキーワードにしたとやま型の食品ロス削減運動「3015（さんまるといちご）運動」を展開しています。

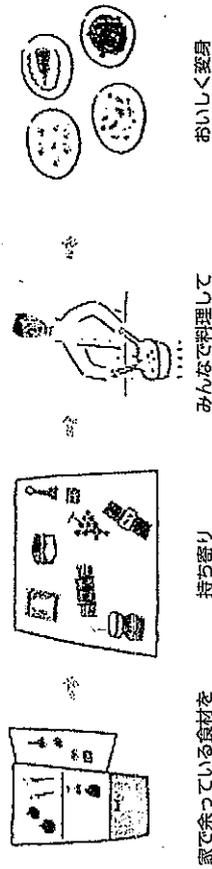
「使い切り 3015」

毎月30日と15日に冷蔵庫などをチェックし食材を使い切る

「食べきり 3015」

宴会の開始後30分と終了前15分間、食事を楽しくむ時間を設定し食べきる

楽しみながら食品ロス削減に取り組む機会を提供するため、家庭で余っている食材を持ち寄り、おいしい料理に変身させる「サルベージ（救助）パーティ」を開催してみませんか。



家で余っている食材を

持ち寄り

みんなで作って料理して

おいしく変身

消費者としてできること

買いすぎない、使い切る、食べきる

県政に対するご意見をお寄せ下さい。
E-mail:

事務局 / 〒980-0801 富山県富山市中島3-7-20 佐竹ビル1F
TEL076-441-4141 FAX076-445-1882

つとむ通信

平成30年

新春号

第58号

発行人／富山県議会自民党議員会 五十嵐 務

富岩環水公園、全国トップクラスの観光資源へ

富山県議会議員 五十嵐 務

昨年3月末に一部開館、8月末に全面オープンした富山県美術館は、予想を上回る多くの来場がありこれまでに約100万人の方が訪れています。

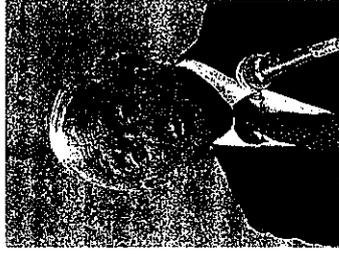
富岩水上ラインは、平成21年度の就航以来、年々乗客数が増加しており、去年の利用者数は58,323人、対前年比14%増と、過去最高を記録しました。また、県外利用者が全体の約7割、特に首都圏からの利用者が全体の4分の1となり、富山県の代表的な観光資源として県内外に広く定着しつつあります。乗船客からは、「中島閘門での水のエレベーターに感動した」や「富岩運河沿いの桜並木の景色に心を癒された」といった意見をお聞かせいただきました。

また環水公園全体の利用者数は、平成19年度は約70万人、平成28年度には約157万人と増えていますが、四季を通じての各種のイベントも人気で、今年度は250万人が見込まれるなど、北陸や日本海側有数の観光拠点となっています。

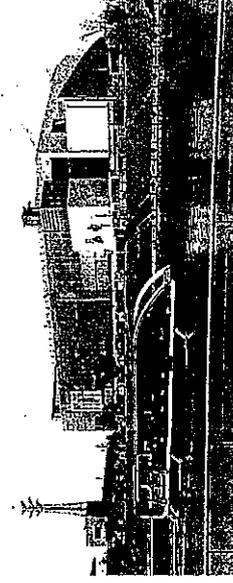
こうしたことから、昨年の6月議会で私から提案してきた、富岩水上ラインに新船を導入、平成31年3月から4艇体制に拡充することになりました。新船には既存の3艇にはないエアコンやトイレが設けられる予定です。現在は3月から11月の運行に限られていますが、新船を活用すれば冬季を含めた通年運行も可能となります。

富岩水上ラインは花果ナイトクルーズが好評ですが、冬の雪景クルーズも他の季節とは違った風情があり、船上から雪化粧の立山連峰の絶景を望むこともできます。春夏秋冬、季節ごとの運河クルーズの醍醐味を提案できれば魅力はより高まります。

これからも、水上ラインの更なる魅力や快適性の向上に努め、富岩運河環水公園や富山美術館とともに、県内外から多くの人々が訪れる北陸有数・全国トップクラスの観光資源として、さらに飛躍するように取り組んでいきます。



(イラスト：クリスマス)



(富山県美術館)

認知症施策取り組み強化を

富山県が平成26年度に実施した実態調査では、富山県内の高齢者は約5万人。そのうち6人に1人と推定され、2025年には約67,000人に増加すると見込まれています。

認知症施策の推進は大変重要であり11月に開かれた厚生環境委員会でのこれからの取り組みについて議論しました。

今後の富山県の認知症施策については、国の基本指針で新たに認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり、認知症の人やその家族の視点を重視した取り組みを進めることが加わったことから、「認知症になっても安心な地域支援体制」の構築を図るため、これまで進めてきた取り組みに加え、認知症高齢者とその家族等を支える相談体制の充実や、地域における見守り体制の構築などに取り組んでいきたいと、前田厚生部長が答弁しました。

また、65歳未満で発症する若年性認知症対策も大きな課題です。平成21年に行った厚生労働省の調査では、国内の若年性認知症患者は約37,800人と推定され、発症の平均年齢は51.3歳で女性より男性に多いといわれています。県内の患者数は全国の1%とすれば約380人と推定されます。

県内では、平成28年7月に富山県総合福祉会館内に若年性認知症相談・支援センターを開設し、医療・介護・福祉・就労などについての相談・支援を行っています。若年性認知症については、受診・検診が遅れる、就労を希望しても受け入れ可能な事業所がない、自宅以外に居場所がない、家族の心労が大きいため、早期相談や受診につなげるための啓発活動、労務担当者との連携による就労支援、仲間や支援者との出会いにつながる居場所づくりへの支援などが必要です。

京都府では、初期から軽度の認知症の人を、医療から生活まで総合的に支援する「リンクワーカー制度」を立ち上げています。また北九州市では、自治体だけではなく地元の医師会や市民団体などと連携し、ワンストップ拠点「認知症支援・介護予防センター」を開設するなど参考になる取り組みも行われています。富山県においても、他の都道府県の取り組みを参考に有意義で有効な認知症施策の推進にしっかりと取り組んでいきます。



医療・看護施策の充実を申し入れ

自民党医療問題調査会は、平成20年の設置以来、県内における医療に関する施策を総合的に推進し、県民の健康増進と県民生活の向上に寄与するため、各種関係団体との意見交換を通じて、医療関連施策の提言を行ってきました。また平成26年には、県内の看護対策を一層推進するため、看護議員連盟を設立しました。

私は設立当初から二つの事務局長を務め、要望・提言の取りまとめを行ってきました。今年度予算に向けて11月17日、産科会長とともに知事に対して要望書を提出しました。

近年は、急速に進む少子高齢化、生活習慣病、認知症高齢者の増加、医療技術の専門・高度化、ITを活用した医療連携の推進、医師・看護職員の不足、国における社会保障と税の一体改革など、保険医療を取り巻く環境が大きく変化しています。こうした情勢に適切に対応するため、国の医療施策が富山県の目指す方向に即したものになるよう国に働きかけを強めるとともに、県としても一層の医療施策の充実に向けて積極的に取り組むよう要望しました。

(主な要望事項)

- ① 医師・看護職員等医療従事者の確保
 - ・研修医数の増加・確保のための対策に引き続き働き支援するとともに、初期臨床研修終了後の後期研修医が増えるような対策を行う
 - ・県立大学看護学部において、看護職員へのキャリア支援を行う
 - ・介護施設等における看護の質の向上（養成・在宅支援・技術指導）
- ② 地域医療体制の充実
 - ・医師が在宅医療に取り組み環境整備を進め、在宅診療を担う医師を確保していく
 - ・訪問看護ステーションの大規模化・ネットワーク化や活用促進への支援
 - ・子どもの発達障害への対応力の向上、小児在宅医療の充実
- ③ 全県的な救急・周産期医療体制の充実
 - ・産科オーブンシステムへの導入・助産師外来の推進など参加・小児科の医療体制の充実
 - ・ドクターヘリの成果は目覚ましいものがあるが、運行時間外や気象条件等の課題もあり、ドクターヘリとドクターカーの併用が理想

そのため、早急にドクターカーの導入の検討



和室に手渡し、斎居での説明

請 求 書

平成 30年 1月 15日

富山県議会議員
五十嵐 務 様

北日本政経懇話会
会長

〒930-0094
富山市安住町(西番町)
北日本新聞社経営企画課
TEL076(445)3528
FAX076(444)9180

平成 30年 上期会費として、下記のご請求額を貴社の指定口座から 平成 30年
2月 13日(火)に引き落とします。よろしくお願ひ申し上げます。

請求金額 54,000円

摘 要	金 額
平成30年上期会費(平成30年1月-6月) 9,000円×6ヵ月	54,000円
	合 計 54,000円
備考 会費(1ヵ月9,000円)は6ヵ月、半期ごとにお支払いを お願ひしております。	

整理番号	3057	事業概要*	県政報告書		
使途項目*	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	県政報告「つとむ通信 59号」発行				
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考		
	印刷製本代	221400	20000部 有限会社エエス		
	本会議写真	10000	タニナカフォトスタジオ		
	《合計》*	231400			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 30 年 3 月 29 日
 決裁 平成 30 年 4 月 2 日
 処理 平成 30 年 4 月 3 日

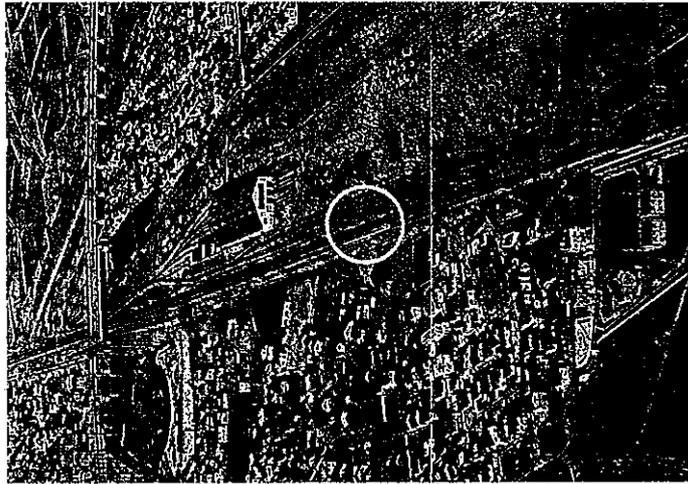
▶新駅 2021年春完成へ …… あいの風とやま鉄道 富山～東富山

あいの風とやま鉄道では、3月17日に高岡やぶなみ駅が開業しました。新駅開業は利用増につながり、また新駅周辺の整備・開発も進むものと期待されています。最も採算性が優れていると予想されている、富山駅～東富山駅間の新駅についてはかねてから地元が早期の開業を要望していましたが、新年度予算に詳細設計費が計上されたことにより、先が見えてきました。高岡やぶなみ駅の例に倣えば、設計から完成まで3年かかると見られており、2021年春の開業を期待するものです。新駅の東側には10.4ヘクタールに上る県有地があり、その利用計画も重要な課題です。新駅周辺の県有地については、事前に民間事業者が保有する活用ニーズを把握するため、昨年末に事業提案を募集し、提案内容について本年1月から聞き取り調査を行っています。

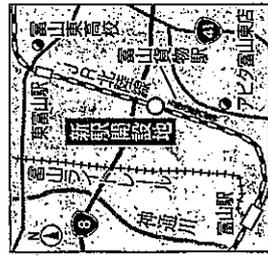
今年度は、聞き取り調査の結果や、他自治体での事例も参考にしながら、公募を実施し、県が設置する選定委員会により、民間事業者の選定を行うこととしています。新駅へのアクセス道路のうち、県道富山大沢野線からの道路については、県において整備を進めることとしており、今年度に事業者着手し、地元の理解も得ながら用地買収を進め、新駅開業までに完成する予定になっています。

また、国道8号からのアクセスについては、「新駅の利便性・アクセス強化のため、検討・整備が必要」とされており、国土交通省が実施している一般国道8号豊田新屋立体事業にて整備される側道への連絡が考えられることから、国との間で整備の内容やスケジュールについて協議を進めています。

これからも、新駅の早期完成、県有地のより良い活用に努めていきます。



富山～東富山駅間に整備が予定される新駅周辺（白丸）。県道国道8号



新駅設置場所

県政に対するご意見を寄せ下さい。

E-mail:

事務所 / 〒930-0801 富山市中島3-7-20 佐竹ビル1F
TEL076-441-4141 FAX076-445-1882

つとむ通信

平成30年
第59号

発行人/富山県議会自民党議員会 五十嵐 務

とやま新時代へ

富山県議会議員 五十嵐 務

皆様方には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

北陸新幹線が開業して3年経過しましたが、利用者数は開業前の3倍近い水準が続き、また今冬のため大雪となる大雪時にもほぼ正常に運転され、雪に強い北陸新幹線を証明し、印象づけました。今後は一日も早い京都・大阪への全線開通を望む声が高まっています。

新幹線開業後、観光客の増加、企業立地の推進など様々な効果が表れていますが、一方で県内企業においては人手不足感が高まっています。社会動向については、一昨年には外国人も含めると、11年ぶりに転入超過となりましたが、昨年は転入超過がさらに拡大したものの、依然として20代前半の女性性は転出超過となっているなど、課題もあります。富山県では、この新幹線開業効果をしつかり持続・深化させるとともに、数年来の働きかけにより国の重要政策となった「地方創生戦略」をしつかりと活かしながら、新たな企業誘致、県内へのUIJTターンや移住の促進に一層努力していかねばなりません。

そのためにも、新幹線開業効果を最大限活かすとともに、少子・高齢化、人口減少、グローバル化の進展、IOT、AIなど第四次産業革命の振興といった「とやま新時代」にふさわしい県づくり、幅広い県民の参加、中長期の視野に立って推進していくことが必要であります。

この新総合計画に基づき、若者も高齢者も男性も女性も、県民の皆様お一人お一人が高い志を胸に、未来に向け夢と希望を持っていきいきと働き暮らせる「元氣な富山県」の実現を目指していかねばなりません。

県議会議員になって15年がたちましたが、初心を忘れず、富山県の限りない発展と、県民の皆様とのさらなる幸せのために、誠心誠意一生懸命に取り組んでまいります。

今後とも、皆様のご理解ご協力ご支援をお願い申し上げます。

報告者*

整理番号	3055	事業概要*	新聞代
使途項目*	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	新聞代 11~3月分		
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考
	富山新聞	15360	11~3月分
	農業新聞	13115	11~3月分
	《合計》*	28475	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			
29-11-02		*3,072	トキマツフアン
29-12-04		*3,072	トキマツフアン
30-01-04		*3,072	トキマツフアン
30-02-02		*3,072	トキマツフアン
30-03-02		*3,072	トキマツフアン
29-11-21	農業新聞	*2,623	
29-12-21	農業新聞	*2,623	
30-01-22	農業新聞	*2,623	
30-02-21	農業新聞	*2,623	
30-03-22	農業新聞	*2,623	

收受 平成 30 年 3 月 29 日
 決裁 平成 30 年 4 月 2 日
 処理 平成 30 年 4 月 3 日